2019 年度文部科学省委託事業

「専修学校グローバル化対応推進支援事業」

各地域における外国人留学生の戦略的受入れに向けた体制整備

大阪型専修学校グローバル化対応推進事業 2019

成果報告書

一般社団法人大阪府専修学校各種学校連合会

2020 年 1 月

目　次

はじめに.....2
Ⅰ．委託事業概要.....3
１．委託事業名.....3
２．委託事業実施期間.....3
３．委託事業趣旨・目的.....3
４．戦略的に外国人留学生の受入れを進める国（地域）並びに分野について.....4
５．会議の開催と連携・協力体制.....5
Ⅱ．委託事業実施内容.....7
１．実施事業名.....7
２．個別事業の実施内容.....8
（１）広報事業.....8
１）大専各留学生支援サイトの運営.....8
２）企業向け大専各留学生支援サイトへの誘引ツール制作・配布.....20
３）日本語教育機関向け大専各留学生支援サイトへの誘引ツール制作・配布.....20
（２）研修・交流事業.....27
１）日本語教育機関向け職業教育セミナー.....27
２）留学生担当者向け研修会.....42
３）企業向け留学生採用企業交流会.....58
（３）その他の事業.....77
１）成果報告書の作成
２）成果報告会の開催
３．その他取組み.....78
（１）職業教育・キャリア教育財団（TCE 財団）事業との連携プロジェクト.....78
１）東南アジア 8 カ国との連携プロジェクト　招へい者の視察等受入れ.....79
２）東南アジア 8 カ国との連携プロジェクト職業教育国際フォーラム
―東南アジア各国大学等と専門学校の継続的な協力連携に向けて.....80
（２）大専各独自事業　外国人留学生のための出前授業.....82
（３）大阪観光局との連携.....83

４．委託事業実施に伴う成果物.....84
５．委託事業（2017 年から 2019 年度）の総括.....86
６．2019 年度 委託事業実施体制.....87

※本書内の年号表記は、原則として西暦表記に統一させていただきます。

はじめに

一般社団法人大阪府専修学校各種学校連合会(以下、大専各)では、2007 年の留学生委員会発足から、様々な外国人留学生（以下、留学生）に関わる取組みを行って参りました。特に留学生が専門学校に『入学を考える、学ぶ、卒業後の進路としての就職まで導く』という入口から出口までの体系化に力をいれてきました。取組み一例としてベトナムやインドネシアなどの海外教育機関との積極的な交流を行い、海外における専門学校の認知・理解度の向上につなげる。また大阪という地域特色を絡めた留学生の良さを冊子にまとめた情報冊子「魅力発見 BOOK」の制作、そして様々な情報を発信できる「留学生支援サイト」の運営などがあげられます。

現在、これらの取組みが実を結び、大阪の専門学校で学ぶ留学生数、そして受入れる専門学校数も数年前に比べて大きく増えています。それは量的成果だけでなく、日本語教育機関・留学生採用企業といった関係各所との連携がさらに広がり、研修会や交流会を定期的に開催できるという質的成果にもつながっています。とくに日本語教育機関との関係では、専門学校の職業教育を出張型で体験できる『出前授業』といった新しい取組みも生まれ、留学生にとって進路選択における情報提供手段のひとつとなっています。このような取組みの背景をもとに、一昨年度（2017 年度）から文部科学省委託事業「専修学校グローバル化対応推進支援事業」として「各地域における外国人留学生の戦略的受入れに向けた体制整備、大阪型専修学校グローバル化対応推進事業」を受託、実施しました。本年度（2019 年度）は事業 3 年目であり、区切りとして一連の事業報告を行うタイミングになります。私たちが取組んできた内容が、地域における留学生の受入れモデルケースのひとつとして、参考になれば幸いです。

留学生は、専門学校をはじめとする高等教育機関で高度な専門性・技術や日本語能力を身につけるのみならず、日本の文化を深く理解する貴重な人材です。そのために職業教育の担い手である専門学校が手を取り合い、さらなる留学生への支援・教育に一層の理解を深めていくことをここに願います。

末筆ながら、本事業にご協力を頂きました関係各位の皆様方に心より御礼申し上げるとともに、今後も引き続き宜しくご指導、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

2020 年 1 月

一般社団法人 大阪府専修学校各種学校連合会

常任理事

留学生委員会

委員長　上田哲也

2019 年度文部科学省委託事業「専修学校グローバル化対応推進支援事業」
各地域における外国人留学生の戦略的受入れに向けた体制整備
「大阪型専修学校グローバル化対応推進事業　2019」

成果報告書

Ⅰ．委託事業概要

１．委託事業名

2019 年度文部科学省委託事業「専修学校グローバル化対応推進支援事業」
各地域における外国人留学生の戦略的受入れに向けた体制整備
「大阪型専修学校グローバル化対応推進事業　2019」

２．委託事業実施期間　2019 年 8 月 9 日～2020 年 3 月 1 日

３．委託事業趣旨・目的

大阪府・大阪市では 2016 年度に策定した「大阪都市魅力創造戦略 2020」の重点事業として「外国人留学生の受入れと定着支援」を展開することとしている。そしてＫＰＩとして 2020 年に大阪で学ぶ留学生数を 23,000 人と設定していたが、2018 年度（2018 年 5 月）段階で 24,751 人と 2 年前倒しで KPI をクリアしている。その中で、約 8,000 人の留学生が大阪の専修学校で学び、大専各としては引き続き、行政が掲げる目標の十分なる受け皿となりえるよう努めていく。そして大切なことは量的成果だけでなく、留学生の生活や就職といった質的成果でも高い実績を求めていくことが重要である。

前述の通り、大専各ではこれまで様々な取組みを行ってきた。そしてその流れを元に、2017 年度は専修学校グローバル化対応推進支援事業の受託事業として、『大阪型専修学校グローバル化対応推進事業』を実施した。事業の位置づけは、それまで実施してきた取組みの発展版であった。事業の柱を広報事業・研修・交流事業とし、まさに入口から出口までの留学生に対する広報・支援を行った。結果として、事業期間が短かったこともあり、初年度は十分な成果をあげたとまでが言えなかったが、翌年、2018 年度事業『大阪型専修学校グローバル化対応推進事業 2018』にスムーズにつながったと考える。ここでは、前年の課題踏襲から、より大専各という組織的活動のモデルケースを確立することを意識して取組んだ。成果として交流会や研修会などは盛況な開催ができ、様々な方に留学生への関心・興味を見出すことができたと考えている。そして本年度（2019 年度）は、事業最終年度として『大専各という組織的活動のモデルケースを確立』をテーマに、専門学校関係者、日本語教育機関、留学生採用企業そして行政との連携強化を意識していき、他地域の先行事例となるプロジェクトを目指し実施した。

４．戦略的に外国人留学生の受入れを進める国（地域）並びに分野について

（１）ターゲット国（2017 年度、2018 年度事業から変更なし）

ベトナム・インドネシア・ミャンマーの 3 か国

2017 年度、2018 年度に続き、上記の 3 か国を選定した。理由として現在日本に留学してくる留学生は、ベトナム・ネパール・インドネシア・スリランカ・ミャンマーなど東南アジアからの増加が目立つ。そして日本への関心度の尺度として、現地日本語教育機関数や学習者数などを国別に考慮した際に、ベトナム・インドネシア・ミャンマーがまとまった学習者数・教育機関数としてあげられた。またこの 3 か国は、日本企業の経済進出やＯＤＡ実績からみても、今後より日本との関係性拡大が見込める国であると考えている。

「出身国別留学生数」

		2012年度			2018年度		
TOP10	1	中国	81,884	60.40%	中国	114,950	38.4%
	2	韓国	15,304	11.30%	ベトナム	72,354	24.2%
	3	ベトナム	6,290	4.60%	ネパール	24,331	8.1%
	4	台湾	4,719	3.50%	韓国	17,012	5.7%
	5	ネパール	3,188	2.40%	台湾	9,524	3.2%
	6	インドネシア	2,410	1.80%	スリランカ	8,329	2.8%
	7	タイ	2,383	1.80%	インドネシア	6,277	2.1%
	8	マレーシア	2,293	1.70%	ミャンマー	5,928	2.0%
	9	アメリカ合衆国	2,083	1.50%	タイ	3,962	1.3%
	10	ミャンマー	1,193	0.90%	バングラデシュ	3,640	1.2%
		TOP10小計	121,747	89.90%	TOP10小計	266,307	89.1%
全体計			**135,519**	100.00%		**298,980**	100.00%
TOP10に占める		非漢字圏	19,840	16.30%	非漢字圏	124,821	46.9%

「2015 年日本語教育機関調査」

国	機関数	教師数	学習者数				
			初等教育	中等教育	高等教育	その他教育機関	合計
インドネシア	2,496	4,540	6,504	703,775	26,981	7,865	745,125
			0.90%	94.50%	3.60%	1.10%	
タイ	606	1,911	3,601	115,355	24,789	30,072	173,817
			2.10%	66.40%	14.30%	17.30%	
ベトナム	219	1,795	0	10,995	19,602	34,266	64,863
			0.00%	17.00%	30.20%	52.80%	
フィリピン	209	721	1,019	5,595	15,572	27,852	50,038
			2.00%	11.20%	31.10%	55.70%	
マレーシア	176	430	0	17,450	12,442	3,332	33,224
			0.00%	52.50%	37.40%	10.00%	
ミャンマー	132	524	0	0	762	10,539	11,301
			0.00%	0.00%	6.70%	93.30%	
シンガポール	30	227	18	1,336	3,947	5,497	10,798
			0.20%	12.40%	36.60%	50.90%	
カンボジア	29	157	15	648	583	2,763	4,009
			0.40%	16.20%	14.50%	68.90%	
ラオス	14	49	261	202	265	318	1,046
			25.00%	19.30%	25.30%	30.40%	
ブルネイ	2	3	0	0	155	61	216
			0.00%	0.00%	71.80%	28.20%	
東ティモール	NO DATE						

独立行政法人日本学生支援機構(JASSO)調査データより　国際交流基金

（２）ターゲットとする分野（2017 年度、2018 年度事業から変更なし）

「工業」「商業実務」「文化・教養」

大阪では、正社員の人手が不足していると回答した企業が 42.1％ある。傾向としてこの数値は年々増えており、「建設 55.8％」「サービス 46.8％」など全体の値を大きく上回っている業界も多数ある。このような中で人手不足を感じている企業は、留学生採用のニーズがあるのかを見極める必要がある。

判断材料として、以下記載する。

①2017 年にある建設の専門学校が建設企業 120 社に向けて、留学生採用セミナーの案内を出した。結果、25 社のセミナー参加と、この業界の関心の高さが伺える。

②現在、大阪は訪日外国人客（インバウンド）数が伸びている（2017 年度 1,100 万人）。帝国データバンクがリサーチした結果からもインバウンドに関連する業界として、ホテル・観光などの人材不足が顕著となっている。

③「外国人就労、拡大に方針転換　新資格の創設着手　政府、骨太に明記へ」[後述の西日本新聞サイト記事（5/20）]で、具体的な外国人労働者の受入れ数を発表した。前述の「建設」「宿泊（観光)」も受入れ数を明記しているが、単純労働ではなく、中核・高度人材を創出するには、とりわけ日本語という語学・文化をしっかり習得していく必要がある。

以上から、建設をはじめとする『工業分野』、ホテル・観光などの『商業実務分野』、そして日本語教育としての『文化・教養分野』を、2018 年度に引き続き選択した。

「従業員の過不足感」

(%)

		「不足」計	適正	「過剰」計
正社員	2016年7月	35.1	51.1	13.8
	2017年1月	39.6	48.7	11.6
	2017年7月	**42.1**	**47.2**	**10.7**
非正社員	2016年7月	20.7	67.7	11.5
	2017年1月	24.7	65.5	9.7
	2017年7月	**25.5**	**65.6**	**8.9**

帝国データバンク「人手不足に対する大阪府企業の動向調査　2017/9/25」より
https://www.tdb.co.jp/report/watching/press/pdf/s170902_58.pdf

外国人労働者の受け入れ数

分野	期間	人数
介護	毎年	1万人程度
農業	2023年まで	最大10.3万人
建設	2025年まで	30万人以上
造船	2025年まで	2.1万人
宿泊	2030年まで	8.5万人

※政府試算

日本で働く外国人労働者

5/20　5/21　西日本新聞　掲載
https://www.nishinippon.co.jp/feature/new_immigration_age/article/417749/
https://www.nishinippon.co.jp/feature/new_immigration_age/article/418040/

５．会議の開催と連携・協力体制

（１）実施委員会（1 回）の開催

・2019 年 10 月 25 日（金）

大阪の専修学校（主に専門学校）の魅力を国内外へ向けて発信するうえで、留学生の生活や就職といった面でも高い成果を求めていくことが必須である。その為に本事業「大阪型専修学校グローバル化対応推進事業」では、産官学の連携強化をし、前述の「広報事業」「研修・交流事業」へ企業・行政等と連携・実務協力を得るために、以下の（３）に記した団体を招集し実施委員会を開催した。また、最終段階での「広報事業」「研修・交流事業」内容の確認、修正と経過報告および今後の発展・活用について意見聴取を行った。

（２）ワーキング会議（6 回）の開催

・第 1 回 2019 年 8 月 30 日（金）　　・第 4 回 2019 年 11 月 15 日（金）
・第 2 回 2019 年 9 月 20 日（金）　　・第 5 回 2019 年 12 月 20 日（金）
・第 3 回 2019 年 10 月 18 日（金）　　・第 6 回 2020 年 2 月 14 日（金）

事業実施のための現状把握、課題の共有を行い、各事業の構成について議論するための会議を開催した。

（3）連携・協力体制

【大阪府】

大阪型専修学校グローバル化対応推進事業の遂行にあたり、実施委員就任、行政の面からの協力及び助言を頂いた。

【大阪観光局】

大阪型専修学校グローバル化対応推進事業の遂行にあたり、実施委員就任、広報面からの協力を頂いた。また大専各として、留学生支援に向けたプラットフォームの創設に関する会合に参加した。

【大阪商工会議所】

大阪型専修学校グローバル化対応推進事業の遂行にあたり、実施委員就任、大阪の企業への周知と呼びかけの協力を得た。

【関西経済連合会】

大阪型専修学校グローバル化対応推進事業の遂行にあたり、広報面からの協力を頂いた。

【職業教育・キャリア教育財団(以下、TCE 財団)】

大阪型専修学校グローバル化対応推進事業の遂行にあたり、協力・連携した。

【日本貿易振興機構（ジェトロ大阪)】

大阪型専修学校グローバル化対応推進事業の遂行にあたり、実施委員就任、企業の要望・留学生受入れの傾向など協力及び助言を頂いた。

【日本語教育振興協会】

大阪型専修学校グローバル化対応推進事業の遂行にあたり、広報面からの協力を頂いた。

Ⅱ．委託事業実施内容

１．実施事業名

（１）広報事業

１）大専各留学生支援サイトの運営

２）企業向け 大専各留学生支援サイトへの誘引ツール 制作・配布

３）日本語教育機関向け 大専各留学生支援サイトへの誘引ツール 制作・配布

（２）研修・交流事業

１）日本語教育機関向け 職業教育セミナー

２）留学生担当者向け 研修会

３）企業向け 留学生採用企業交流会

（３）その他事業

１）成果報告書の作成

２）成果報告会の開催

２．個別事業の実施内容

（１）広報事業

１）大専各留学生支援サイトの運営

①概要

留学生に対する入口から出口までの支援を行う上で、情報発信は必要不可欠である。大専各の活動として、この情報発信の一翼を担っているのが、大専各留学生支援サイト（https://study-osaka.com/）である。2017 年度事業では海外からのアクセスに対応できる多言語訳のランディングページの作成、そして 2018 年度事業では国内の日本語教育機関に在籍している留学生や教職員、そして留学生採用を行い・検討している企業担当者を対象とした『より見られる Web サイト』を目指し、サイト構築とコンテンツの拡充を行ってきた。結果としては以下の通りである。〔参照図-2.3〕

〔参照図-2〕新サイトと旧サイトによる各パフォーマンス比較＊新サイト：2018 年 10 月以降

■Google Analytics　※2018年10月1日より下記URLの新サイトに切替

・検証URL：　https://study-osaka.com/

・検証期間：　～2019年12月16日

セッション数	平均	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2019年度	993.67	933	750	706	872	788	1239	1738	1244	673			
2018年度	933.25	1181	894	1104	1003	1086	802	973	595	673	1238	760	890
2017年度	994.25	767	985	1101	972	840	940	992	982	863	950	1142	1397

■新サイト平均:　957.07

海外からのセッション数	平均	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2019年度	141.00	260	117	145	159	137	73	131	141	106			
2018年度	137.75	109	77	161	91	374	96	139	72	62	104	65	303
2017年度	97.58	75	135	68	83	69	66	115	77	83	73	201	126

■新サイト平均:　136.29

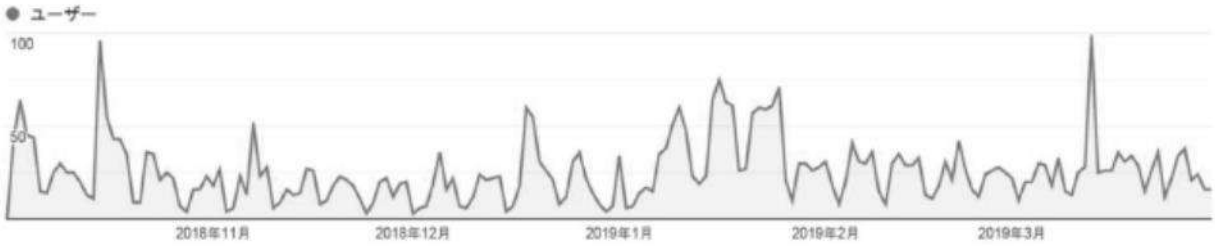
PV数/セッション	平均	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2019年度	3.07	2.01	1.82	1.65	3.85	2.96	3.27	4.42	4.68	3.01			
2018年度	2.14	1.73	1.65	1.95	2.01	2.16	2.35	2.91	2.85	2.19	1.76	2.19	1.92
2017年度	1.58	1.63	1.57	1.7	1.46	1.38	1.92	1.55	1.45	1.59	1.42	1.51	1.8

■新サイト平均:　2.75

直帰率	平均	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2019年度	62.76	76.42	71.6	75.78	64.91	64.21	53.27	41.66	55.14	61.81			
2018年度	70.7%	82.73	80.65	78.08	76.67	74.03	68.7	52.62	50.25	61.81	77.95	68.55	76.29
2017年度	81.4%	81.36	82.44	79.47	82.2	83.21	79.15	81.65	83.71	81.23	83.47	78.28	80.89

■新サイト平均:　63.60

〔参照図-3〕新サイトにおけるユーザー数推移



結果から述べると 2018 年度設定した KPI は未達成であった。しかし「海外からのセッション数」、「PV 数/セッション数」、「直帰率」の数値が示すとおり、サイト構築とコンテンツの拡充を行ったことで、少しずつではあるが、『より見られる Web サイト』へと進化しているのではないか。また、月々ユーザー数にまだバラつきはあるものの、〔参照図-3〕にある通り、山場が所々に出ている。これは、別取組みの誘引ツールの発送や配布、そして企業交流会といった行事開催を行った後に上昇しており、この Web サイトがしっかり情報発信の役割を果していると推測できる。

よって、2019 年度の事業ではこういった形で良い方向に進んでいる留学生支援サイトを、以下の点で重点改修・補完することで、より成果に結びつけるものとした。

【重点改修・補完コンテンツ】

a) 受入れ校一覧情報の各校更新化
b) 動画掲載数の向上
c) 卒業生情報の掲載数の向上
d) 出前授業の新年度情報を更新と申込み機能の開始
e) ビザに関する情報更新 など

上記項目を重点的な改修・補完に選んだ理由は、前年度結果の PV 数の状況などを考慮している。

a)受入れ校一覧は、サイトユーザーである日本語教育機関・企業が、どういった専門学校が留学生を受入れしているのかという問いに対して応えるページであり、PV 数ランキング TOP3 に入る上位閲覧コンテンツである。課題としては、閲覧数があるにも関わらず、掲載できる情報が「静的」かつ「限られた」ものだということであった。そのためサイトユーザーである日本語教育機関や企業の多くは、サイト閲覧後に、何か追加情報を知るためなどに、事務局へ問い合わせするしか方法がない状態であった。これは事務局に問い合わせする行動があるならまだしも、別の考え方では多くの機会損失があるかもしれないとも捉えられる。よって改修は「動的」に各受入れ校が更新できる機能（後述する情報カードとの連携なども考慮）を構築した。

e)ビザ申請については、2019 年 4 月より新たな在留資格として、特定技能がスタートしている。そういった観点からも世間的関心度が高いコンテンツである。それに加えて専門学校が行っている職業教育、そして手厚い出口（就職）サポートに結びつける必要があるため、急務と捉え、刷新を図った。

なお、b)・c)・d)の各項目は、すでに実装済みの機能を使って、大専各会員校に周知・活用してもらうなど工夫を図っていく。

	ページ	ページビュー数	ページビュー数（%）
1.	/attractiveness/accept_situation/	3,131	23.17%
2.	/	1,663	12.31%
3.	/graduates/	342	2.53%
4.	/attractiveness/working_visa/	327	2.42%
5.	/2440/	247	1.83%
6.	/attractiveness/data/	152	1.12%
7.	/all_news/	147	1.09%
8.	/study_j/	135	1.00%
9.	/movie/	131	0.97%
10.	/accepting_school/kou001/	112	0.83%

2018 年度（2018 年 10 月 1 日～11 月 30 日）

②具体的活動

留学生支援サイトの運営プロジェクト担当を中心に協議を重ね、ワーキング会議で定期報告を行ない詳細に詰めていった。また誘引ツールプロジェクト担当とも連携し、サイトの特徴・優位性などをツールに反映できるよう協力していった。

a)　受入れ校一覧情報の各校更新化

1）サイト公開済み校数 81 校（2019 年 12 月 16 日現在）

2）受入れ情報カードの印刷（掲載校）

3）学び分野・学科系統の表示分野変更済み（2019 年 11 月 15 日現在）

b)　動画掲載数の向上

公開済み 169 動画（リニューアル前 122 動画）（2019 年 12 月 16 日現在）

c)　卒業生情報の掲載数の向上

公開済み 83 名（リニューアル前 71 名）（2019 年 12 月 16 日現在）

d)　出前授業の新年度情報を更新と申込み機能の開始

2019 年 4 月に実施済み

e)　ビザに関する情報更新 など

1）2019 年 9 月 9 日（月）リニューアル公開済み

・その他　引き続きログ解析レポートを用いて、定点観測を行っていく。

③KPI（重要達成度指標）の設定と計測・評価

■留学生支援サイトの運営 https://study-osaka.com/

【KPI の設定について】

項目（各数値は月間平均）	考え方
月間セッション数	どれだけアクセスされたのか？
海外からの月間セッション数	海外からのアクセスはどうだったのか？
PV 数/セッション数	アクセスした人が、しっかりとサイトを閲覧しているのか？
月間直帰率	魅力あるサイトなのか？

【2019 年度 KPI の設定】

項目	2018 年度実績	**2019 年度 KPI**
月間セッション数	854.8	**1,000**
海外からの月間セッション数	124.2	**200**
PV 数/セッション数	1.92	**3.0**
月間直帰率	76.29%	**50%**

（2018 年実績は 2018 年 10 月-2019 年 3 月まで）

2019 年度 KPI は、2018 年度達成できなかった数値を再設定している。設定根拠は、前述の通り新運用して半年以上が経っており、検索順位なども安定してきている。ある意味、当初の目算が早く成果に結びつくと考えていたため、この KPI 再設定で成果を見定めていきたい。

【KPI の計測・評価】

《1》2019 年度事業の成果

ログ解析　2019/10/1～2019/11/30（更新日 2019/10/1-　報告書作成日 2020/1/17）

項目	2019 年度 KPI	**2019 年度実績**	**達成可否**	**差異**
月間セッション数	**1,000**	**1,491**	**○**	**＋491**
海外からの月間セッション数	**200**	**136**	×	**△64**
PV 数/セッション数	**3.0**	**4.53**	**○**	**＋1.53**
月間直帰率	**50%**	**47.28%**	**○**	**2.72%**

報告書を作成するタイミングから、成果の指標となる期間が短いことは否めないことであるが、2019 年 10 月 1 日のリニューアル公開後の結果からは、「海外からの月間セッション数」以外は KPI を達成できた。特に「PV 数/セッション数」「月間直帰率」の数値は、前年同時期から大きく改善（PV 数/セッション数　1.92⇒4.53　　月間直帰率　76.29％⇒47.28％）した点は、目標に掲げていた『より見られる Web サイト』になるために、サイト内のコンテンツ改修が功を奏した結果だといえる。

《2》3 か年の事業成果として

留学生支援サイト　実績推移

	2017 年度	推移	2018 年度	推移	2019 年度
項目	実績		実績		実績
月間セッション数	**1,211**	↘	**854.8**	↗	**1,491**
海外からの月間セッション数	**112.5**	↗	**124.2**	↗	**136**
1 人あたりの PV 数	**1.06**	↗	**2.30**	↗	**4.53**
直帰率	**81.53%**	↗	**64.58%**	↗	**47.28%**

各年度　サイトリニューアルした 10 月 1 日から 6 か月を測定基準においている。

ただし、2019 年度は成果報告書作成のため　10 月 1 日から 11 月 30 日の 2 か月間で測定した結果である。

2019 年度（2019 年 10 月 1 日～11 月 30 日）　閲覧されているページ　TOP10

	ページ		ページビュー数	ページビュー数（%）
1.	/attractiveness/accept_situation/	→受入れ校一覧	3,131	23.17%
2.	/	→TOP ページ	1,663	12.31%
3.	/graduates/	→卒業生	342	2.53%
4.	/attractiveness/working_visa/	→就労ビザ	327	2.42%
5.	/2440/	→お知らせ「留学生採用企業交流会」	247	1.83%
6.	/attractiveness/data/		152	1.12%
7.	/all_news/		147	1.09%
8.	/study_j/		135	1.00%
9.	/movie/		131	0.97%
10.	/accepting_school/kou001/		112	0.83%

3 か年の推移から、あきらかに留学生支援サイトにおける実績は改善されているといえる。前述の通り「1 人あたりの PV 数」と「直帰率」が大きく改善されており、『より見られる Web サイト』になってきている。そのきっかけとなっているのが新しく構築したコンテンツであると言え、特に『受入れ校一覧』は、サイトに訪れるユーザーにとって求められている情報だと言えるのではないか。この『受入れ校一覧』のページは、CMS 化しており、年度ごとに大専各の会員校が更新できる仕組みにしているため、これからも新しい情報を発信していくことができる。

3 か年の事業まとめとして、サイトを作るだけでなく、ユーザー目線にたった情報を格納していくことで、『より見られるサイト』になり、そこからまた新たな情報を発信できる仕組みにつながるという事が検証できたと考える。

（1）-1）留学生支援サイト https://study-osaka.com/サイトマップ

	第１階層	第２階層	第３階層
1	TOP		
2		日本留学を目指す方へ（英語）	
3		日本留学を目指す方へ（繁体字）	
4		日本留学を目指す方へ（簡体字）	
5		日本留学を目指す方へ（ベトナム語）	
6		日本留学を目指す方へ	
			大阪の専門学校のここが魅力
			専門学校MOVIE
			働く・活躍する卒業生
			留学生受入れ校一覧
			データで見る外国人留学生
			日本留学を目指す方へのお知らせ
7		日本語教育機関の方へ	
			大阪の専門学校のここが魅力
			専門学校MOVIE
			職業教育を体験！出前授業
			留学生受入れ校一覧
			働く・活躍する卒業生
			留学生の歩み～日本で就職するまで～
			外国人留学生採用企業の声
			教材提供サービス
			教育機関の方へのお知らせ
8		企業の皆様へ	
			大阪の専門学校のここが魅力
			専門学校MOVIE
			働く・活躍する卒業生
			留学生受入れ校一覧
			外国人留学生採用、就労ビザの申請に関する基礎知識
			留学生の歩み～日本で就職するまで～
			外国人留学生採用企業の声
			データで見る外国人留学生
			企業の方へのお知らせ
9		大専各とは	
			会員校一覧（外部サイト）
			活動実績
10		専門学校の魅力	
			データで見る外国人留学生
			大阪の専門学校のここが魅力
			留学生の歩み～日本で就職するまで～
			外国人留学生採用企業の声
			留学生受入れ校一覧
			外国人留学生採用、就労ビザの申請に関する基礎知識
11		留学生受入れ校一覧	
12		専門学校MOVIE	
13		働く・活躍する卒業生	
14		職業教育を体験！出前授業	
15		教材提供サービス	
16		お知らせ一覧	
17		プライバシーポリシー	
18		著作権・免責事項	
19		リンク集	
20		お問い合わせ	
21		サイトマップ	

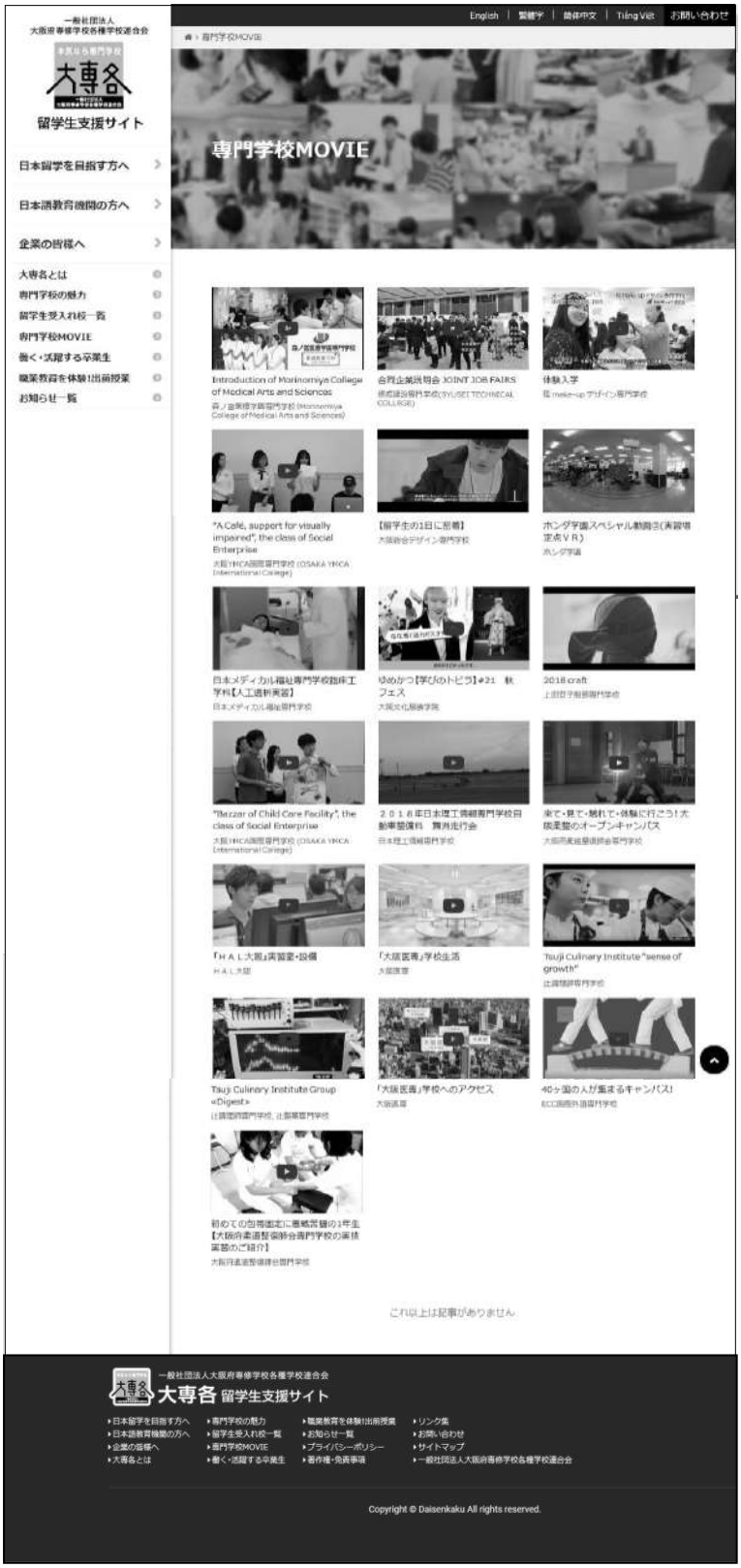
（1）1）留学生支援サイト https://study-osaka.com/　各コンテンツ紹介

①トップページ

留学生支援サイト
はこちら

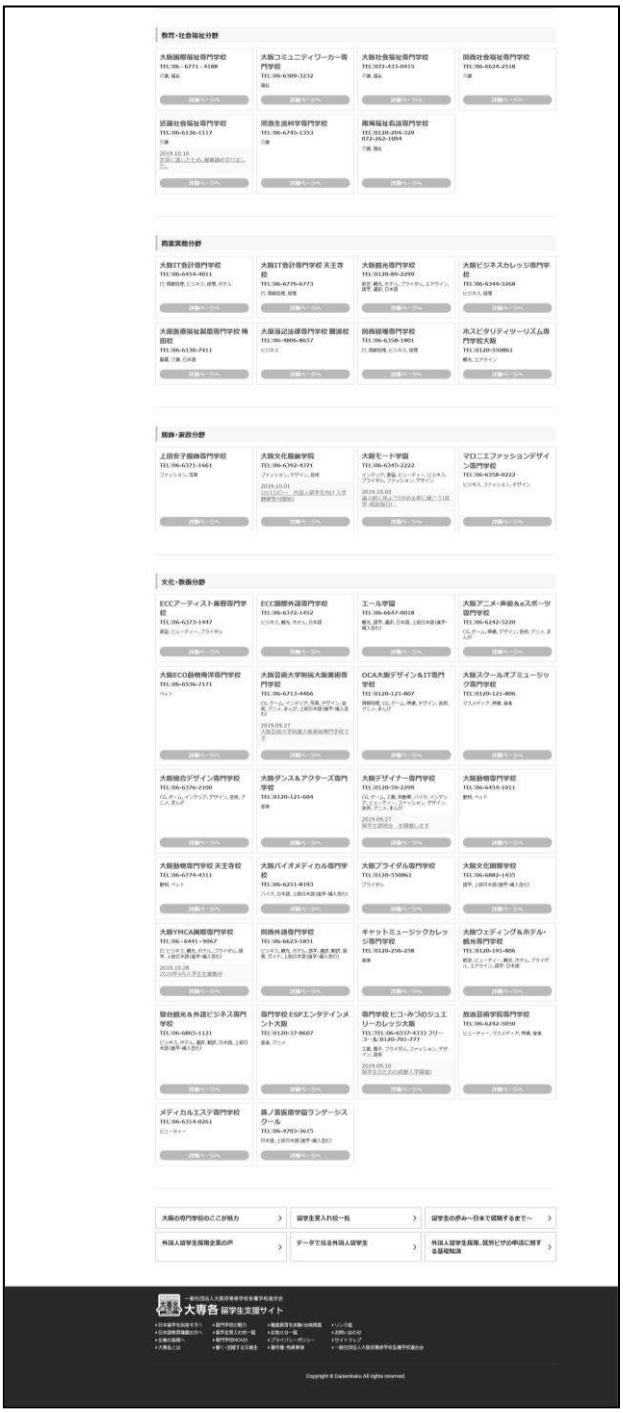
②外国人留学生採用、就労ビザの申請に関する基礎知識

③専門学校 MOVIE ページ（169 動画掲載）



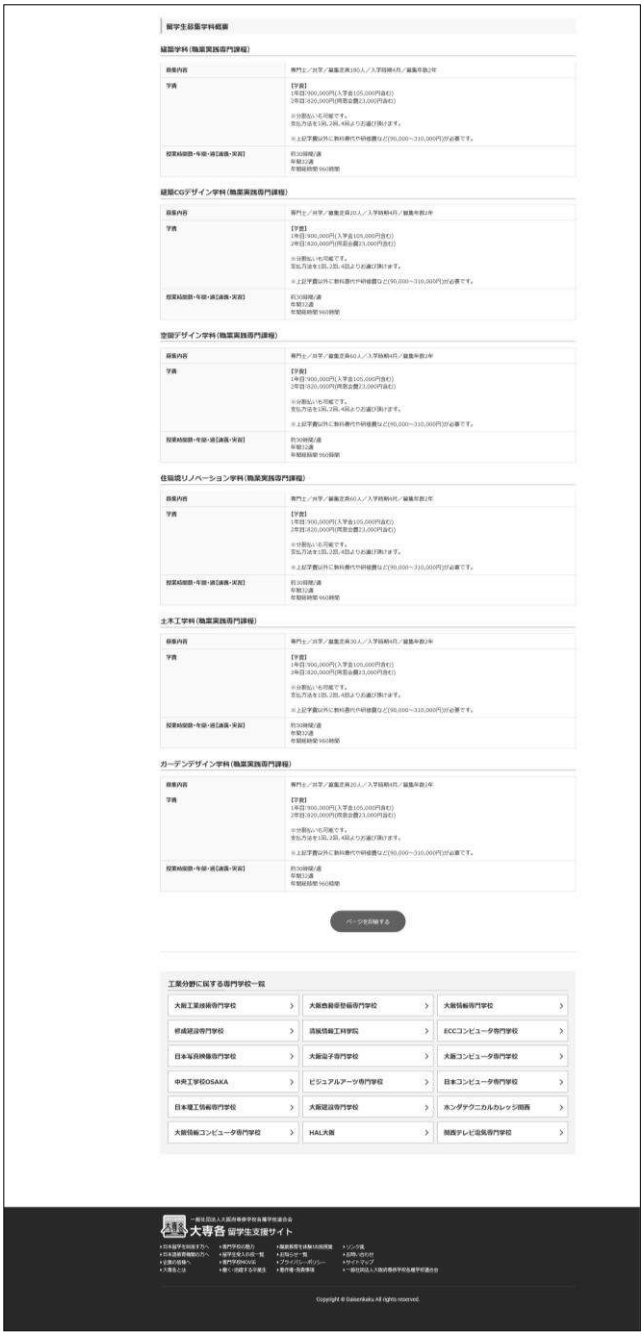
④働く・活躍する卒業生（卒業生 83 名掲載）

⑤留学生受入れ校一覧



受入れ校一覧は
こちら

⑥留学生受入れ校　学校概要



２）企業向け 大専各留学生支援サイトへの誘引ツール　制作・配布

３）日本語教育機関向け 大専各留学生支援サイトへの誘引ツール　制作・配布

①概要

前述の取組みである『①留学生支援サイトの運営』は、対象者に『より見られる Web サイト』作りのため行うものである。ターゲットの閲覧満足度を向上させるための取組みは必要ではあるが、その取組みは特別に新たな訪問者を連れてくる効果には繋がらない。そのため、コンテンツを拡充した留学生支援サイトをより多くのユーザーに閲覧してもらうための別途誘引施策が必要である。

誘引を強化すべきターゲットとしては、「国内の日本語教育機関の教職員」と「国内の留学生の採用に意欲のある（検討している予備軍含む）企業」である。前年度に引き続き、上記のターゲットによる留学生支援サイトへの利用促進を目的とした誘引ツールを制作・配布した。誘引ツールは、容易に配布するため前年度同様に体裁を簡易（A4 判・4P）にし、日本語教育機関用、企業用とターゲット別の 2 種を作成した。企業用誘引ツールの配布は大阪商工会議所、関西経済連合会、岸和田商工会議所、東大阪商工会議所、大阪シティ信用金庫、英和信用金庫、富田林工業団地協同組合、森興産、池田泉州銀行、だいしん総合研究所、ABC プラットフォーム、大阪観光局など各種団体の協力のもと行うことができた。日本語教育機関用誘引ツールの配布は大専各会員校の他、全国の日本語教育機関や各専各にも郵送。それぞれの誘引ツールにより、企業からも日本語教育機関からも「留学生受入れ校一覧」や「外国人留学生採用、就労ビザの申請に関する基礎知識」など、留学生採用、留学生の進路指導に役立つ情報ページへのアクセスを増やすことができた。

また、日本語教育機関向けの取組みとして「外国人留学生受入れ校一覧　専門学校 進学情報カード」を新規に制作、配布した。こちらは Web サイトのリニューアルに伴い拡充した「留学生受入れ校一覧の各校更新化」と連動する形で、大阪にある留学生の受入れを行っている専門学校情報をフォーマット化し 1 冊にまとめた。留学生の進路検討に必要な情報はもちろん、専門学校の行っている教育内容や成果について、日本語教育機関の先生方の専門学校教育の理解促進につながるものと考える。

②具体的活動

留学生支援サイトへの誘引ツール 2 種（後ページに冊子を掲載）

ａ）留学生採用検討企業向け「誘引ツール」 ｂ）日本語教育機関・進路指導向け「誘引ツール」

（後ページに冊子を掲載）

仕様：A4 判・4P・2 種・各 5,000 部

種類：**ａ**）留学生採用検討企業向け／**ｂ**）日本語教育機関・進路指導向け

企業向け、日本語教育機関向け 2 種類のツールを作成。前年同様、ツール体裁は簡易にして（A4 判・4P)、できるだけロット数を増やし、多くのステークホルダーに配布することに重点をおいた。

前年度イメージは踏襲しつつ、企業の担当者や日本語教育機関の教職員が、トップページ以外にも必要とする情報へ直接容易にアクセスできるよう、QR コードを複数掲載した機能的なデザインとした。

ｃ）「外国人留学生受入れ校一覧　専門学校 進学情報カード」（後ページに冊子を抜粋掲載）

仕様：A4 判・96P・1,500 部

日本語教育機関向けに留学生受入れ校一覧情報を整理、フォーマット化。大阪にある留学生受入れを行っている専門学校情報誌として、情報網羅性、検索性、保存性の高い進学情報誌として発刊できた。

誘引ツールと合わせて配布することで、日本語教育機関の先生方の専門学校教育への理解が深まったと考える。

③KPI（重要達成度指標）の設定と計測・評価

■企業向け 大専各留学生支援サイトへの誘引ツール　制作・配布

■日本語教育機関向け 大専各留学生支援サイトへの誘引ツール　制作・配布

【KPI の設定について】

この取組みにおける KPI 設定の考え方は、「留学生支援サイトの運営」と同様である。

【KPI の計測・評価】

《1》2019 年度事業の成果

ログ解析　2019/10/1～2019/11/30（更新日 2019/10/1-　報告書作成日 2020/1/17）

項目	2019 年度 KPI	**2019 年度実績**	**達成可否**	**差異**
月間セッション数	**1,000**	**1,491**	○	**＋491**
海外からの 月間セッション数	**200**	**136**	×	**△64**
PV 数/セッション数	**3.0**	**4.53**	○	**＋1.53**
月間直帰率	**50%**	**47.28%**	○	**2.72%**

【KPI の計測・評価】

2019 年度では以上の KPI 設定をクリアするための誘引ツールの配布は以下のとおり行った。

①誘引ツール配布先

a）留学生採用検討企業向け「誘引ツール」（5,000 部）

大阪商工会議所、関西経済連合会、岸和田商工会議所、東大阪商工会議所、大阪シティ信用金庫、英和信用金庫、富田林工業団地協同組合、森興産、池田泉州銀行、だいしん総合研究所、ABC プラットフォーム、大阪観光局/大専各会員校・他専各団体/行政/企業交流会・その他

b）日本語教育機関・進路指導向け「誘引ツール」（5,000 部）

日本語教育機関（全国・1 校 4 部）/ワーキング校経由/大専各会員校・他専各団体/行政・その他

c）日本語教育機関・進路指導向け「専門学校 留学生受入れ情報カード」（1,500 部）

日本語教育機関（全国・1 校 1 部）/大専各会員校・他専各団体・その他

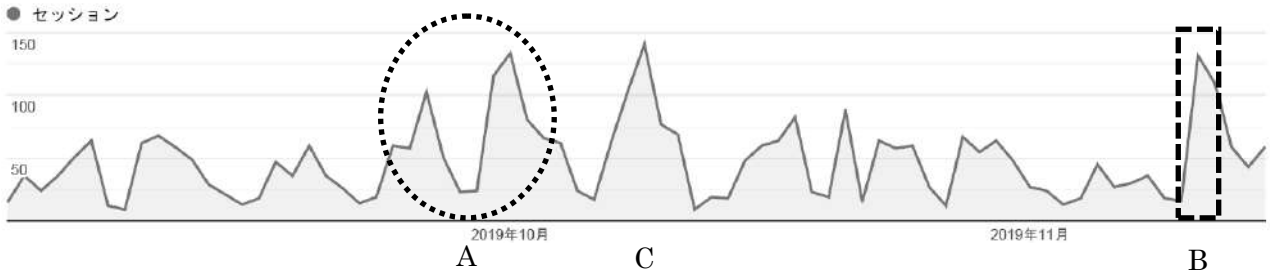
《2》3 か年の事業成果として

結論として誘因ツールの作成・配布は、留学生支援サイトのセッション数を増やすために、有益だということがわかった。

根拠として以下グラフが示す通り、9/21 以降に盛り上がりが出ている。これは、この誘引ツールの発送が完了した時期（A：9/20 日本語教育機関、9/24 企業向け発送完了　B：11/7 進学情報カード発送完了）と重なっており、誘引ツールを見て、サイトへアクセスしてくれたと判断できる。また前年度リニューアル後 1 年間の数字は KPI 未達ながらも、9 月 Web サイト改修後は各数字が大幅に改善しており、成果達成まであと一歩の状況である。このような結果から、短期間での計測ながらも Web サイトの改修はもちろん、ツールの中身・内容についてもブレていないと考えられる。この傾向は前年の 2018 年度も同様である。

現段階において、誘引ツール、情報カードの継続的な効果は今後も期待できると考えている。理由としては、団体配布を依頼している大阪商工会議所や大阪観光局などが、今後においても団体主催の交流会やセミナーなどで継続配布するとの話があり、また大専各主催の研修等会等で配布・活用し周知アクセス数が増える要素が十分あると考えているからだ。

図 A：　2019/9/1-2019/11/15　留学生支援サイト　ログ解析　日別セッション数



A：日本語教育機関、企業へツールを一斉配布した直後の反応（誘引ツール）

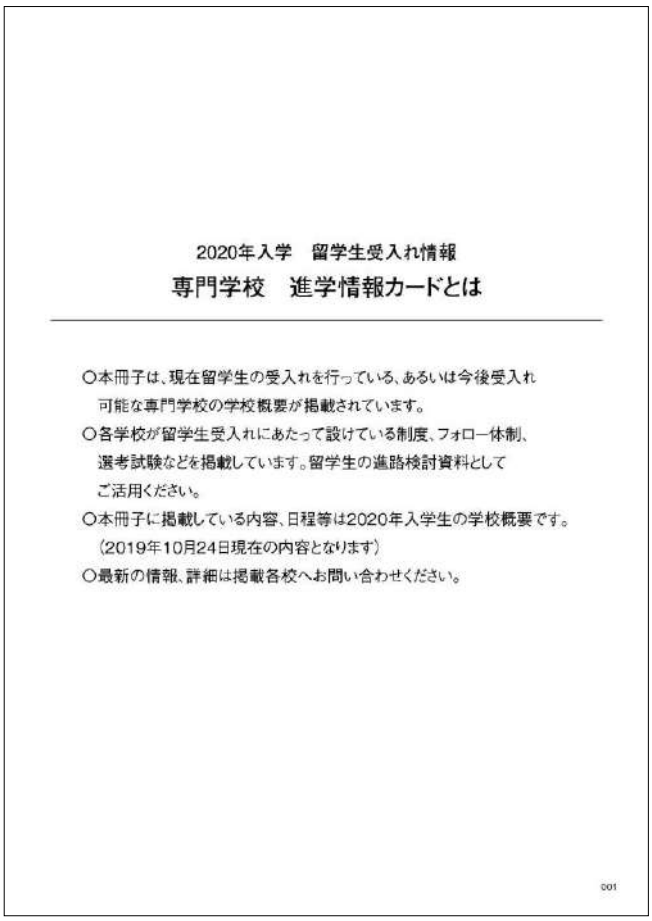
B：日本語教育機関にツールを配布した際の反応（進学情報カード）

C：Web サイトリニューアルに伴う「留学生受入れ校一覧」の情報更新完了告知によるセッション増、また、10 月 30 日開催の「留学生採用企業交流会」への参加申し込みを WEB 上で受け付けたことによるセッション増の要因が多く、直接誘引ツールによるものではないと判断した。

（1）2） a）企業向け 大専各留学生支援サイトへの誘引ツール

（1） 3） b）日本語教育機関向け 大専各留学生支援サイトへの誘引ツール

（1）３）ｃ）外国人留学生受入れ校一覧　専門学校進学情報カード 保存版



工業分野

Technology

ITや電子・電気・ロボット関連に携わる技術者、建築士や土木関連の技術、自動車整備士など、日本のものづくりを支える人材を育成します。

情報処理、コンピュータ、自動車、建築・土木、電気・電子、ロボット・機械、測量、製図など

ECC Kompyuta Senmongakko

ECCコンピュータ専門学校

ECC College of Computer and Multimedia

[住所]〒530-0015 大阪府大阪市北区中崎西2-3-35
[交通]JR大阪駅、阪急大阪梅田駅、大阪メトロ梅田駅より徒歩10分、大阪メトロ中崎町駅4番出口より徒歩1分
■TEL 06-6374-0144 ■FAX 06-6374-0149 ■E-mail comp@ecc.ac.jp
[URL]https://comp.ecc.ac.jp

工業

留学生に対する教育方針・特色・独自の個別指導やフォロー体制

学費減免、日本語授業の実施、担任・教務による個別面談、その他生活指導など。

留学生在籍者	170名
留学生の主な出身国・地域	中国、台湾、韓国、ベトナム、インドネシア
留学生用試験の有無	有
留学生選考試験	[illegible]
留学生のインターンシップ実施	有。日本人学生と同じ。
留学生のインターンシップ状況	[illegible] IT業界、ゲーム業界、Web業界、CG映像業界 など [illegible]
留学生対象の就職支援	[illegible]
海外提携企業、学校等	有
海外提携の内容	[illegible]
資格取得	日本語能力試験 ITパスポート試験 基本情報技術者試験 Oracle Certified Java Programmer ORACLE MASTER Microsoft Office Specialist C言語プログラミング能力認定試験 CGエンジニア検定 [illegible]

留学生の卒業後の進路	[illegible] IT業界、ゲーム業界、Web業界、CG映像業界 など [illegible]
留学生の就職率(就職者/就職希望者)	[illegible]
留学生対象の制度	[illegible]
その他受入条件	[illegible]
身元保証人	要
宿舎の紹介	有
日本での生活指導、オリエンテーション等	[illegible]
アルバイト紹介／アルバイトポリシー	[illegible]
備考	

■留学生 募集学科概要

学科名	職業実践専門課程	専門士	性別	募集定員	入学時期	修業年数	学費	授業時間数・年間・週[講義・実習]
高度情報処理研究学科	○	高	共	—	4	4	入学金50,000円／授業料750,000円／設備費240,000円／合計(1年間)1,040,000円 ※別途、教材費・諸経費あり。※授業料は学費減免ランクによって異なります。	[illegible]
マルチメディア研究学科	○	士	共	—	4	3	入学金50,000円／授業料750,000円／設備費240,000円／合計(1年間)1,040,000円 ※別途、教材費・諸経費あり。※授業料は学費減免ランクによって異なります。	[illegible]
マルチメディア学科	○	士	共	—	4	2	入学金50,000円／授業料750,000円／設備費240,000円／合計(1年間)1,040,000円 ※別途、教材費・諸経費あり。※授業料は学費減免ランクによって異なります。	[illegible]
[illegible]学科	—	士	共	—	4	2	入学金50,000円／授業料610,000円／設備費240,000円／合計(1年間)900,000円 ※別途、教材費・諸経費あり。	[illegible]

※[illegible]

医療分野

Medical Care

高齢化が進む中でニーズが高まる看護・歯科衛生関係、理学療法士や作業療法士といったリハビリ関係など、生命を支えるスペシャリストを育成します。

看護、理学・作業療法、歯科衛生、柔道整復、はり・きゅう、臨床検査・工学、診療放射線など

Osaka Isen

大阪医専

Osaka Isen College of Medical Care & Welfare

[住所]〒531-0076 大阪府大阪市北区大淀中1-10-3
[交通]JR大阪駅、阪急・阪神大阪梅田駅、大阪メトロ梅田駅から徒歩9分
[就職担当／入学担当]入学相談室／入学担当
■TEL 06-6452-0110 ■FAX 06-6455-7209 ■E-mail [illegible]
[URL]www.iko.ac.jp

医療

留学生に対する教育方針・特色・独自の個別指導やフォロー体制

■学びたい意欲に国境はありません。学びたい意欲がある人すべてに応える、大阪医専だからできることです。 ■大阪医専は「認可校」「適正校」「認定校」です。 ■卒業と同時に、卒業証書と「高度専門士」／「専門士」の称号が得られます。 ■勉学も日常生活も安心の留学生支援制度があります。 ■安心して勉学に励むことができる住環境を提供します。 ■就職指導担当者が病院・施設等への就職推進を図っています。

留学生在籍者	7名
留学生の主な出身国・地域	中国6名、韓国1名
留学生用試験の有無	有
留学生選考試験	[illegible]
留学生のインターンシップ実施	有
留学生のインターンシップ状況	[illegible]
留学生対象の就職支援	[illegible]
海外提携企業、学校等	有
海外提携の内容	[illegible]
資格取得	[illegible]

留学生の卒業後の進路	[illegible]
留学生の就職率(就職者/就職希望者)	希望者就職率100%
留学生対象の制度	[illegible]
その他受入条件	[illegible]
身元保証人	不要
宿舎の紹介	有
日本での生活指導、オリエンテーション等	[4月]留学生オリエンテーション [illegible]
アルバイト紹介／アルバイトポリシー	[illegible]
備考	[illegible]

■留学生 募集学科概要

学科名	職業実践専門課程	専門士	性別	募集定員	入学時期	修業年数	学費	授業時間数・年間・週[講義・実習]
救急救命学科	○	士	共	40	4	3	1,540,000円[入学金含む] ※別途実習費・教材費等が必要	年810~870h
臨床工学学科	○	高	共	40	4	4	1,700,000円[入学金含む] ※別途実習費・教材費等が必要	年809~1,008h
高度専門士看護学科	—	高	共	40	4	4	1,815,000円[入学金含む] ※別途実習費・教材費等が必要	年810~1,040h
高度看護保健学科	○	高	共	40	4	4	1,810,000円[入学金含む] ※別途実習費・教材費等が必要	年802~1,152h
実践看護学科	○	士	共	80	4	3	1,810,000円[入学金含む] ※別途実習費・教材費等が必要	年808~1,130h
理学療法学科	○	高	共	40	4	4	1,830,000円[入学金含む] ※別途実習費・教材費等が必要	年840~870h
作業療法学科	○	高	共	40	4	4	1,800,000円[入学金含む] ※別途実習費・教材費等が必要	年870~1,020h
言語聴覚学科	○	士	共	40	4	2	1,620,000円[入学金含む] ※別途実習費・教材費等が必要	年1,035~1,236h
鍼灸学科	○	士	共	30	4	3	1,470,000円[入学金含む] ※別途実習費・教材費等が必要	年826~920h
柔道整復学科	○	士	共	30	4	3	1,470,000円[入学金含む] ※別途実習費・教材費等が必要	年802~951h
スポーツトレーナー学科	—	士	共	20	4	2	1,260,000円[入学金含む] ※別途実習費・教材費等が必要	年842~962h
アスレティックトレーナー学科	○	士	共	20	4	3	1,260,000円[入学金含む] ※別途実習費・教材費等が必要	年1,060~1,116h
介護福祉学科	○	士	共	40	4	2	1,120,000円[入学金含む] ※別途実習費・教材費等が必要	年960~1,110h
精神保健福祉学科	—	—	共	40	4	1	1,380,000円[入学金含む] ※別途実習費・教材費等が必要	年1,260h

※[illegible]

（2）研修・交流事業

1）日本語教育機関向け 職業教育セミナー

①概要

専門学校に入学してくる留学生の多くは、国内の日本語教育機関を経由して入学してきているので、日本語教育機関と連携を強化することは大変重要である。これまでの事業では、専門学校の職業教育を理解していただくことと、近年増加している非漢字圏の留学生の日本語教育の難しさをどう克服するかという共同テーマに焦点を当てて、研修と交流会を実施してきた。また大専各では、独自事業として「出前授業」という取組みも実施し、日本語教育機関に在籍する留学生に、専門学校での学びや進路などを直接 PR してきた。このような取組み実績から、年々大阪の専門学校に入学する留学生は増えてきている。〔参照図-5〕

しかし課題もある。それは、まだまだ専門学校が行っている職業教育について、日本語教育機関から十分な理解を得られているとは言えないことである。そして前述している通り、同じ高等教育機関である大学は「定員厳格化」によって、優秀で学力のある留学生であっても、なかなか希望通りの進学がかなわないケースが出てきている。結果、日本語教育機関では、留学生への進路指導が容易に進まないケースが出ているのだと推測される。

専門学校としては、このような現状だからこそ、より専門学校の職業教育、そして手厚い留学生サポートを日本語教育機関の先生方に理解してもらえる場をつくっていく必要があると考え、具体的方法として前年度発展版と考え「日本語教育機関の教員向け　職業教育セミナー」を開催した。

〔参照図-5〕大阪で学ぶ　教育機関別　留学生過年度推移

	大学・短大	前年比	高等・専修・準備	前年比	日本語学校	前年比	計	前年比
平成26年度	7,982		2,871		2,735		13,588	
平成27年度	7,839	98%	4,077	142%	3,364	123%	15,280	113%
平成28年度	8,142	104%	5,223	128%	5,046	150%	18,411	121%
平成29年度	8,612	106%	6,988	134%	6,083	121%	21,683	118%
平成30年度	9,208	107%	8,168	117%	7,375	121%	24,751	114%

②具体的活動

日本語教育機関向け　職業教育セミナーの開催。

2018 年度の成果から、今年度も大阪私学会館にて職業教育セミナーを、日本語教育機関が夏休み期間で対象者が参加しやすいと思われる 8 月 9 日に開催した。今回は、日本語教育機関の進路指導担当教職員、そのなかでも進路指導キャリアの短い先生方を主な参加対象者として、セミナーを企画した。セミナー内容としては、専門学校で行われている職業教育の理解と双方の交流を深める機会であることは踏襲し、1 部では「初めて留学生に進路指導をする先生のための専門学校進学指導法」をテーマとし、専門学校職員と日本語教育機関で進路指導を行っている教員の対談形式を用いて、専門学校進学指導の具体的方法や対策などをお話し頂いた。また 2 部では、専門学校入試担当者がブース出展をし、日本語教育機関の進路指導担当者が、各学校の入試情報（入試日程、学費、出願条件など）やコース内容や就職状況などの詳細の情報を収集しつつ、個別の疑問を解決できる場を設定した。

《1》日本語教育機関向け 職業教育セミナー　プログラム

【実施名】

「留学生担当教職員向け研修会」

「日本語教師向け職業指導セミナー」

～専門学校が実践する職業教育と、その後の就職について～

【日時】2019 年 8 月 9 日（金）　**※上記２事業を同日開催**

「初めて留学生を指導する先生のための専門学校進学指導法」14：00～15：00

「マッチングフェア」　15：00～17：00

【会場】大阪私学会館　4 階講堂

【プログラム】

Ⅱ．「日本語教師向け職業指導セミナー」14：00～15：00

１部：「初めて留学生に進路指導をする先生のための専門学校進学指導法」

修成建設専門学校 理事長

(一社)大府専修学校各種学校連合会　留学生委員会 副委員長　山下　裕貴

大阪文化国際学校　専任講師　西村　大希

２部：マッチングフェア

参加校（ブース出展校　12 校）

ECC 国際外語専門学校、エール学園、大阪工業技術専門学校、大阪バイオメディカル専門学校、大阪 YMCA 国際専門学校、関西社会福祉専門学校、修成建設専門学校、清風情報工科学院、日本コンピュータ専門学校、日本理工情報専門学校、日本メディカル福祉専門学校、愛甲農業科学専門学校

※同日開催　Ⅰ．「留学生担当教職員向け研修会」10：00～12：00

【動員結果】

参加人数	Ⅱ．留学生担当教職員向け研修会	**Ⅱ．日本語教師向け職業指導セミナー**	
		１部：セミナー	**２部：マッチングフェア**
専門学校	24	15	8
日本語教育機関	61	71	53
主催者・関係者（ワーキングメンバー・講演者・司会含む）	18	18	18
合計	**103**	**104**	**79**

③KPI（重要達成度指標）の設定と計測・評価

■日本語教育機関向け 職業教育セミナー

【KPI の設定について】

項目	考え方
日本語教員の参加者数	興味・関心を図るうえでの、目標動員数を設定する
専門学校教育の理解度	イベント参加者にむけてアンケートを実施し、集計する

【KPI の設定について】

項目	2018 年度実績	**2019 年度 KPI**
日本語教員の参加者数	36 人	**20 人**
専門学校教育の理解度	100％	**90％以上**

2018 年度は、KPI で設定した参加者数・専門学校教育の理解度はともにクリアしており、2017 年度実績よりも向上することができた。参加者数が大きく増えた要因は、開催時期を夏期休暇期間に移動して、早い段階から告知を行った点が大きいと推測している。そして理解度 100％の要因は、日本語教育機関の先生方へ専門学校理解をより深めて頂けるように、十分に時間をとった講義形式の職業理解セミナーを実施したからだと考える。

この実績を踏まえ、2019 年度も夏期休暇期間に開催。大学の定員厳格化や新しい在留資格など、日本語教育機関の教員にとって話題とすべき事柄がたくさんある今だからこそ、専門学校の職業教育に関心をもってもらうタイミングで開催した。

日本語教育機関教職員向け職業教育セミナーの実施が、意義あるものとして客観的に示すために、興味・関心を図る上で【日本語教員の参加者数】と、職業教育に関する理解度を図る上で【参加者アンケートの理解度率】をＫＰＩとして設定した。

【KPI の計測・評価】

《2》2019 年度事業成果として

項目	2019 年度 KPI	**2019 年度実績**	**達成可否**	**差異**
日本語教員の参加者数	**20 人**	**53 人**	**〇**	**＋33 人**
専門学校教育の理解度	**90％以上**	**81.8％**	×	**-1.1％**

▷日本語教員などの参加者：2 部 53 名（1 部は 71 名）
専門学校進学指導に関する設問を設け、概ね 90％以上の参考になったという満足度。

▷「専門学校教育の理解度」は、大変参考になった：13 名（29.5％）、参考になった：23 名（52.3％）、あまり参考にならなかった：4 名（9.1％）、無回答：4 名（9.1％）
参考になったという満足度の合計率　81.8％＊アンケート結果は後頁に掲載。

《3》3 か年の事業成果として

日本語教育機関向け 職業教育セミナー

	2017 年度	推移	2018 年度	推移	2019 年度
項目	実績		実績		実績
日本語教育機関教職員の参加者数	**22 人**	↗	**36 人**	↗	**53 人**
参加者の満足度、理解度	**98%**	↗	**100%**	↘	**81.8%**

専門学校と日本語教育機関との交流の促進と連携の強化を図ることを目的とし事業に取り組んだが、この 3 年という短期間でも、留学生を取り巻く進学状況や社会状況は目まぐるしい変化を遂げている。そのような進学事情の変化や専門学校と日本語教育機関との連携の醸成を取らまえながら、毎セミナーの目的や内容を変更し、実施をしてきた。KPI から成果を検討した場合、最終年度において満足度（＝理解度）は 90％以上という目標を達成できなかったが、年々参加人数が増加しており、初年度から比較をすると最終年度は 3 倍となったことは評価できる点である。

プログラム（２）１）日本語教師向け職業指導セミナー

2019 年度 文科省委託事業「専修学校グローバル化対応推進支援事業」

「留学生担当教職員向け研修会」

「日本語教師向け職業指導セミナー」

～専門学校が実践する職業教育と、その後の就職について～

【主　催】一般社団法人 大阪府専修学校各種学校連合会

【日　時】2019 年 8 月 9 日（金）

【会　場】大阪私学会館 4 階講堂

「留学生担当教職員向け研修会」 10:00～12:00

「初めて留学生を指導する先生のための専門学校進学指導法」 14:00～15:00

「マッチングフェア」 15:00～17:00

時 間	留学生担当教職員向け研修会 プログラム
9:30～10:00	受付　　司会:中山 羊奈
10:00～10:05	挨拶 (一社)大阪府専修学校各種学校連合会 副理事長 冨永 桂多
10:05～12:00	留学生を専門学習から就職へとつなげるアプローチを考える 事例発表 ECC 国際外語専門学校 白石 一幸 大阪 YMCA 国際専門学校 望月 温 修成建設専門学校 塩田 久及 エール学園 西村 康司 (10 分×4 校＝40 分) パネルディスカッション 30 分　　ファシリテーター:白石 一幸 グループ討議 20 分 パネルディスカッション 25 分 (※予定)

時 間	日本語教師向け職業指導セミナー プログラム
13:30～14:00	受付　　司会:鈴木 えみ
14:00～15:00	「初めて留学生に進路指導をする先生のための専門学校進学指導法」(1 部) 修成建設専門学校 理事長 (一社)大府専修学校各種学校連合会 留学生委員会 副委員長　　山下 裕貴 大阪文化国際学校 専任講師　　西村 大希
15:00～17:00	マッチングフェア(2 部) 参加校:ECC 国際外語専門学校、エール学園、大阪工業技術専門学校、 大阪バイオメディカル専門学校、大阪 YMCA 国際専門学校、関西社会福祉専門学校、 修成建設専門学校、清風情報工科学院、日本コンピュータ専門学校、日本理工情報専門学校、 日本メディカル福祉専門学校、愛甲農業科学専門学校

実施風景　（２）１）日本語教師向け職業指導セミナー

第１部：初めて留学生に進路指導をする先生のための専門学校進路指導法

質疑応答

実施風景　（２）１）日本語教師向け職業指導セミナー

２部　マッチングフェア

アンケート調査結果　（２）１）日本語教師向け職業指導セミナー

2019 年度　文部科学省委託事業「専修学校グローバル化対応推進支援事業」　全体

日本語教師向け職業指導セミナー　アンケート　集計結果【全体】　2-1

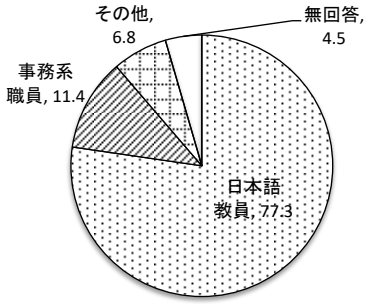
実施日時：2019 年 8 月 9 日（金）14：00～17：00

アンケート回答数：合計 44 件

【所属教育機関：①日本語教育機関 30 件　②専門学校（日本語学科等）14 件】

2.学校内での業務

	N	1 日本語教員	2 事務系職員	3 その他	無回答
合計	44	34	5	3	2
%	100.0	77.3	11.4	6.8	4.5

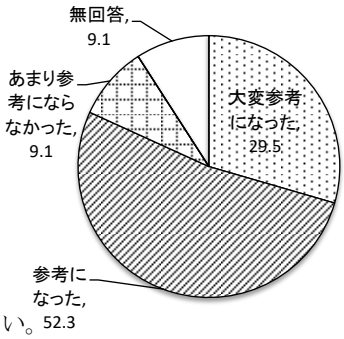


3.留学生の進路指導を行うに当たり困っていること（自由回答）

※所属教育機関別集計の記載内容をご覧ください。

4-1）プログラム感想：「初めて留学生に進路指導する先生のための専門学校進学指導法」の参考度

	N	1 大変参考になった	2 参考になった	3 あまり参考にならなかった	4 参考にならなかった	無回答
合計	44	13	23	4	－	4
	100.0	29.5	52.3	9.1	－	9.1



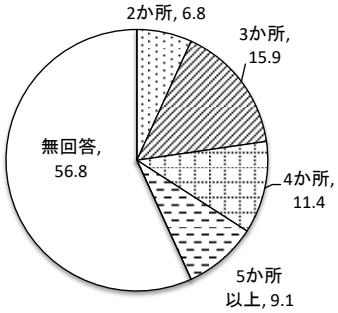
4-2）参考にならなかった理由（自由回答）

・学生本人の実力と進学先にレベルの差がかなりあるのに、本人にその自覚がない。

・日本語教師でなかったため。

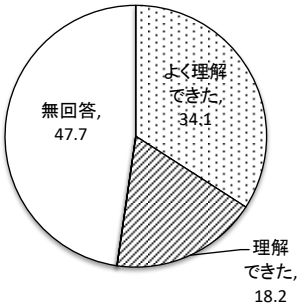
5-1）マッチングフェア：訪問ブース数

	N	1 2か所	2 3か所	3 4か所	4 5か所以上	無回答
合計	44	3	7	5	4	25
	100.0	6.8	15.9	11.4	9.1	56.8



5-2）参加フェアでの学校案内理解度

	N	1 よく理解できた	2 理解できた	3 あまり理解できなった	4 全く理解できなかった	無回答
合計	44	15	8	－	－	21
	100.0	34.1	18.2	－	－	47.7

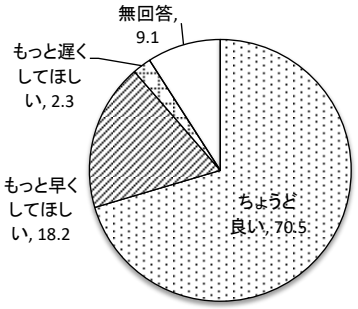


5-3）理解できなかった理由（自由回答）

※「理解できなかった」回答がなかったので記入無し

6-1）セミナー開催時期評価

	N	1 ちょうど良い	2 もっと早くしてほしい	3 もっと遅くしてほしい	無回答
合計	44	31	8	1	4
	100.0	70.5	18.2	2.3	9.1



※「2.もっと早くしてほしい」希望の時期

n=8

5月-3票

6月-1票

7月-2票

無記入　2票

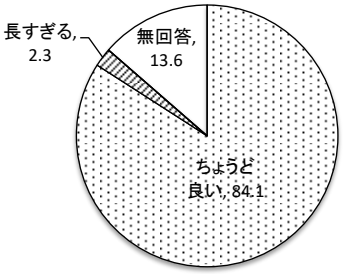
※「3.もっと遅くしてほしい」希望の時期

n=1

11月-11票

6-2）実施時間評価

	N	1 ちょうど良い	2 長すぎる	3 短かすぎる	無回答
合計	44	37	1	－	6
	100.0	84.1	2.3	－	13.6



※「2.長すぎる」希望の時間

n=1

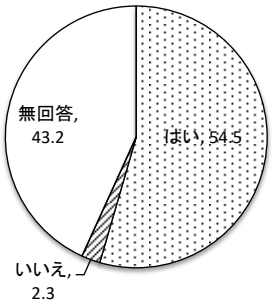
1.5時間-1票

※「3.短かすぎる」希望の時間

回答無し

7-1）今後のセミナー参加意向

	N	1 はい	2 いいえ	無回答
合計	44	24	1	19
	100.0	54.5	2.3	43.2



7-2）本日のセミナーへのご意見、ご要望（自由回答）

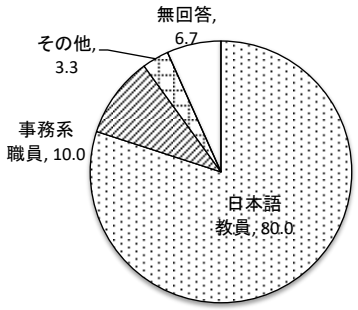
※所属教育機関別集計の記載内容をご覧ください。

2019 年度 文部科学省委託事業「専修学校グローバル化対応推進支援事業」
日本語教師向け職業指導セミナー アンケート 集計結果【①日本語教育機関】

実施日時：2019 年 8 月 9 日（金）14：00～17：00
アンケート回答数：合計 44 件
所属教育機関①日本語教育機関 30 件

2.学校内での業務

	n	1 日本語教員	2 事務系職員	3 その他	無回答
日本語教育機関	30	24	3	1	2
%	100.0	80.0	10.0	3.3	6.7



3.留学生の進路指導を行うに当たり困っていること（自由回答）

□意欲、目標

・進学して卒業後の将来のイメージの把握があまりにも弱い学生が多く、同国人の友人の動きだけを見て右往左往していることが少なくない。

・進学に対する意欲、目的意識の意識の低い学生への指導。

・学生のニーズ把握、意識、意欲をもたせるにはどうしたらよいか。基本的なマナーを身につけさせるための方法などで悩んでいます。

・志望理由が具体的でないことです。「先輩に聞いたから」とあまりよく考えないで志望する学生が多いです。

・具体的な希望を持たない学生の指導（キャリア支援を行うにも日本語力が足りない場合）。本日の西村先生の話はよかった。

□進路指導、就職

・進学先の紹介方法。

・学校がありすぎて、どの学校がよいかわかりにくい。

・出口支援（進学サポート）

・主に中国の学生が分不相応な進学先を希望する、その際の着地点の見つけ方。

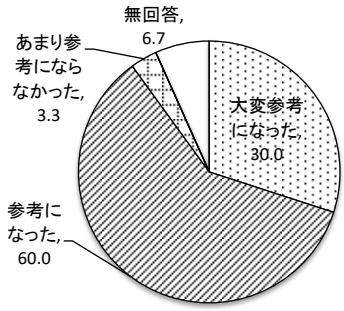
□学費

・学費支弁（奨学金制度）

・学費の支払い。

4-1プログラム感想：「初めて留学生に進路指導する先生のための専門学校進学指導法」の参考度

	n	1 大変参考になった	2 参考になった	3 あまり参考にならなかった	4 参考にならなかった	無回答
日本語教育機関	30	9	18	1	－	2
%	100.0	30.0	60.0	3.3	－	6.7

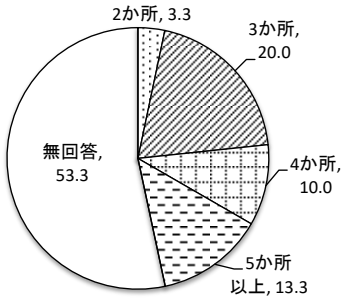


4-2）参考にならなかった理由（自由回答）

・学生本人の実力と進学先にレベルの差がかなりあるのに、本人にその自覚がない。

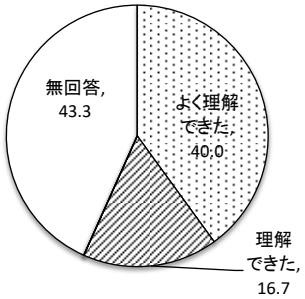
5-1マッチングフェア：訪問ブース数

	n	1 2か所	2 3か所	3 4か所	4 5か所以上	無回答
日本語教育機関	30	1	6	3	4	16
%	100.0	3.3	20.0	10.0	13.3	53.3



5-2.参加フェアでの学校案内理解度

	n	1 よく理解できた	2 理解できた	3 あまり理解できなった	4 全く理解できなかった	無回答
日本語教育機関	30	12	5	−	−	13
%	100.0	40.0	16.7	−	−	43.3

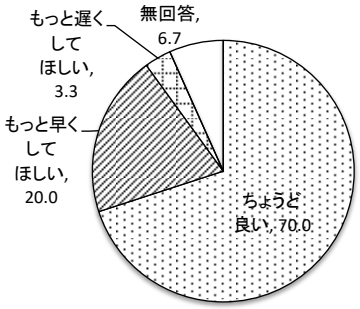


5-3）理解できなかった理由（自由回答）

※「理解できなかった」回答がなかったので記入無し

6-1.セミナー開催時期評価

	n	1 ちょうど良い	2 もっと早くしてほしい	3 もっと遅くしてほしい	無回答
日本語教育機関	30	21	6	1	2
%	100.0	70.0	20.0	3.3	6.7

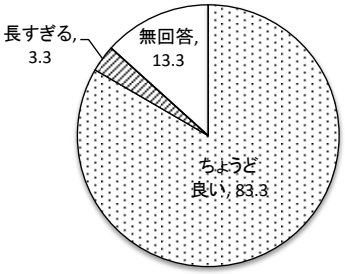


※「2.もっと早くしてほしい」希望の時期
n=6
5月-2票
7月-2票
無記入　2票

※「3.もっと遅くしてほしい」希望の時期
n=1
11月-1票

6-2.実施時間評価

	n	1 ちょうど良い	2 長すぎる	3 短すぎる	無回答
日本語教育機関	30	25	1	−	4
%	100.0	83.3	3.3	−	13.3

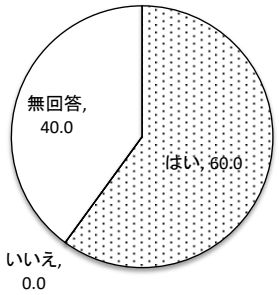


※「2.長すぎる」希望の時間
n=1
1.5時間-1票

※「3.短かすぎる」希望の時間
回答無し

7-1今後のセミナー参加意向

	n	1 はい	2 いいえ	無回答
日本語教育機関	30	18	−	12
%	100.0	60.0	−	40.0



7-2）本日のセミナーへのご意見、ご要望（自由回答）

・学生本人の実力と進学先にレベルの差がかなりあるのに、本人にその自覚がない。

7-2）本日のセミナーへのご意見、ご要望（自由回答）

□マッチングフェア

・マッチングフェアは、時間をしっかり区切って回れるのはすごく助かりました。

・マッチングのとき、もう少し自由に移動できればよかった。

・ホテル・観光の分野の専門学校のご説明を伺えればと思います。

□その他

・大学の定員厳格化を知らず、2018 年 3 月卒の学生に苦労させました。このような情報共有の場に積極的に出るべきだと痛感しました。

・暗闇で 1 時間お話を伺うだけでは少し眠くなるので、聴衆への質問等があれば、よいかと思います。

・専門学校の先生方に直接お聞きすることができ、大変参考になりました。

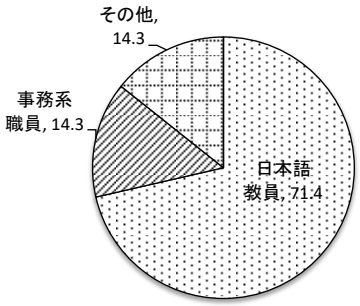
・専門学校について改めて知ることができました。専門学校における教育と実情を知りました。今後の進路指導に役立てたいと思います。

2019 年度　文部科学省委託事業「専修学校グローバル化対応推進支援事業」
日本語教師向け職業指導セミナー　アンケート　集計結果【②専門学校（日本語学科等）】

実施日時：2019 年 8 月 9 日（金）14：00～17：00
アンケート回答数：合計 44 件　所属教育機関②専門学校（日本語学科等）14 件

2.学校内での業務

	n	1 日本語教員	2 事務系職員	3 その他	無回答
専門学校（日本語学科等）	14	10	2	2	−
%	100.0	71.4	14.3	14.3	−



3.留学生の進路指導を行うに当たり困っていること（自由回答）

□意欲、目標

・学生自身が目的意識をはっきりと持たない者もいる。何を学びたいか将来何をしたいかがわからず、先輩がいる、入りやすいとか目先のことだけ考え進学先を決める。

・目的、意欲が低い学生への指導に困っています。

・学生のモチベーションの向上、維持、学生自身が漠然としたイメージしか持てていない。

□進路指導、就職

・就職志望の学生の扱い。

・自分で進学先を決められない。

□その他

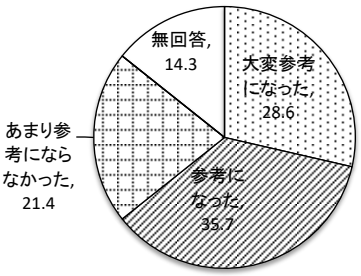
・習慣の違い

・専門学校が多すぎて他校との違いがわかりにくいことがある。

・日本語でのコミュニケーションができない。

4-1プログラム感想：「初めて留学生に進路指導する先生のための専門学校進学指導法」の参考度

	n	1 大変参考になった	2 参考になった	3 あまり参考にならなかった	4 参考にならなかった	無回答
専門学校（日本語学科等）	14	4	5	3	−	2
	100.0	28.6	35.7	21.4	−	14.3

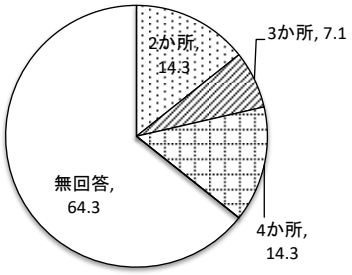


4-2）参考にならなかった理由（自由回答）

・日本語教師ではなかったため。

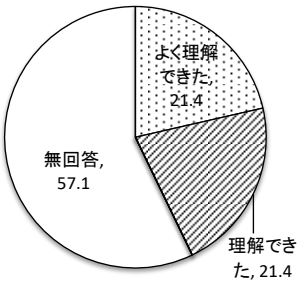
5-1マッチングフェア：訪問ブース数

	n	1 2か所	2 3か所	3 4か所	4 5か所以上	無回答
専門学校（日本語学科等）	14	2	1	2	−	9
	100.0	14.3	7.1	14.3	−	64.3



5-2.参加フェアでの学校案内理解度

	n	1 よく理解できた	2 理解できた	3 あまり理解できなった	4 全く理解できなかった	無回答
専門学校（日本語学科等）	14	3	3	−	−	8
	100.0	21.4	21.4	−	−	57.1

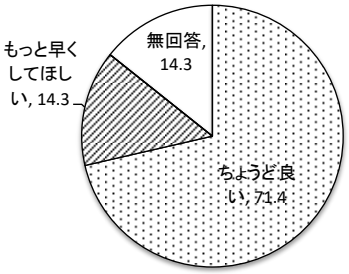


5-3）理解できなかった理由（自由回答）

※「理解できなかった」回答がなかったので記入無し

6-1.セミナー開催時期評価

	n	1 ちょうど良い	2 もっと早くしてほしい	3 もっと遅くしてほしい	無回答
専門学校（日本語学科等）	14	10	2	−	2
	100.0	71.4	14.3	−	14.3



※「2.もっと早くしてほしい」希望の時期

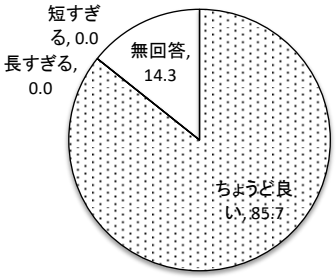
n=2

5月-1票

6月-1票

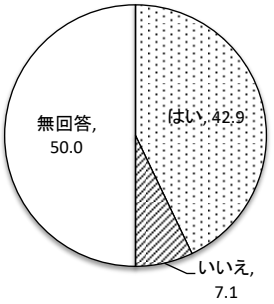
6-2.実施時間評価

	n	1 ちょうど良い	2 長すぎる	3 短すぎる	無回答
専門学校（日本語学科等）	14	12	−	−	2
	100.0	85.7	−	−	14.3



7-1今後のセミナー参加意向

	n	1 はい	2 いいえ	無回答
専門学校（日本語学科等）	14	6	1	7
	100.0	42.9	7.1	50.0



7-2）本日のセミナーへのご意見、ご要望（自由回答）

・遠方からの参加でしたので、マッチングフェアも参考のために伺いしました。
いろいろお話を聞けて勉強になりました。

アンケート調査票

2019 年度　文部科学省委託事業 「専修学校グローバル化対応推進支援事業」

日本語教師向け職業指導セミナー　アンケート

本日はセミナーにご参加いただき、誠にありがとうございます。今後の事業の参考にさせていただきますので、ご感想やご意見をお聞かせください。ご協力の程、どうぞ宜しくお願いいたします。**以下、いずれかに☑チェックを入れてご回答ください。**

1. どの教育機関に所属をされていますか？

□①日本語教育機関　　□②専門学校（日本語学科等）

2. 学校内での業務についてお答えください。

□①日本語教員　　□②事務系職員等　　□③その他

3. 留学生の進学指導を行うに当たり困っている事は何ですか？

4. プログラムについてご感想、ご意見をお聞かせください。

1）.「初めて留学生に進路指導をする先生のための専門学校進学指導法」について

□①大変参考になった　□②参考になった　□③あまり参考にならなかった　□④参考にならなかった

上記で③または④と、ご回答いただいた方のみ、お手数ですが参考までにご意見をお願いします。

5. マッチングフェアについてのご感想、ご意見をお聞かせください。

1）.何か所のブースを周られましたか？（　　）か所

2）.参加されたフェアでの学校案内は、ご理解はいただけましたでしょうか？

□①良く理解できた　□②理解できた　□③あまり理解できなかった　□④まったく理解できなかった

上記で③または④と、ご回答いただいた方のみ、どのような点でご理解できなかったか、参考までにご意見をお願いします。

6. 本セミナーの開催時期、実施時間について、ご意見ご感想をお聞かせください。

1）開催時期について□①ちょうど良い□②もっと早くして欲しい（具体的に：__月頃）□③もっと遅くして欲しい（具体的に：__月頃）

2）実施時間について□①ちょうど良い　□②長すぎる（具体的に：__時間位ならよい）　□③短すぎる（具体的に：__時間位ならよい）

7. 今後についてご意見をお聞かせください。

1）今後、本日と同様のセミナーがあれば参加したいと思いますか。　□①はい　□②いいえ

2）本日のセミナーに関するご意見・ご要望がございましたら、何でも自由にご記入ください。

※次回開催するにあたって、希望する分野や専門学校名でも結構です。

アンケートにご協力いただき、誠にありがとうございました。

一般社団法人 大阪府専修学校各種学校連合会

※このアンケートによって提供いただいた情報は 2019 年度　文部科学省委託事業 「専修学校グローバル化対応推進支援事業」の結果報告として使用致します

（2）研修・交流事業

2）留学生担当者向け研修会

①概要

今までに実施した日本語教育機関との研修テーマであった『やさしいにほんご』は、参加者に好評であった。『やさしいにほんご』の研修内容を学内で発表したところ、留学生に対する学内指導がよりスムーズになりそうだという報告も受けている。しかし 2018 年度のアンケート結果をみると、「1.大変参考になった」「2.参考になった」の割合が 2017 年度に比べて平坦になっている。全体的な満足度は高いものの、やはり「1.大変参考になった」という割合が増えるようにしていくためにも新しいテーマの検討が必要ではないかと考え、2019 年度は新たに『留学生の就職』にスポットを当てて実施した。もともと本プロジェクトは、「留学生の入口から出口までのトータルサポート」に重きをおいており、出口である就職に対してきめ細かなサポートは必要不可欠である。この研修会を通して、N2 レベルの日本語⇒専門科目の理解⇒就職といった流れの中で、専門教育に必要な日本語をどのように伸ばしていくかといった観点もおさえつつ、日本式の就職活動、企業が求める日本語力などについて専門学校教職員が共通認識を持ち、留学生にとっても、企業にとってもよい就職となるように、指導していく力を養うことを目標とした。

②具体的活動

「**留学生担当教職員向け研修会**」の開催。

学生自身にとっても、専門学校にとっても大きな課題である就職をテーマにすえ、「留学生を専門学習から就職へとつなげるアプローチを考える」と題して、研修会を行った。4 つの学校の担当者よりそれぞれが実践している意欲的な取組みについて報告を受け、パネルディスカッションで日本語のレベル、就職活動等、共通の課題について議論を深めた。その後、6～8 名程度のグループに分かれて、グループディスカッションを行い、更に具体的に情報交換、共有を図った。

1）プログラム

【日時】2019 年 8 月 9 日（金）　10：00～12：00

【会場】大阪私学会館　4 階講堂

【プログラム】

「**留学生担当教職員向け研修会**」10：00～12：00

挨拶　(一社)大阪府専修学校各種学校連合会　副理事長　冨永 桂多

留学生を専門学習から就職へとつなげるアプローチを考える（10 分×4 校＝40 分）

①事例発表（10 分×4 校＝40 分）

ECC 国際外語専門学校　白石　一幸

大阪 YMCA 国際専門学校　望月　温

修成建設専門学校　塩田　久及

エール学園　西村　康司

②パネルディスカッション　30 分

③グループ討議　20 分

④パネルディスカッション　25 分

【動員結果】

参加人数	Ⅰ．留学生担当教職員向け研修会	Ⅱ．日本語教師向け職業指導セミナー	
		1部：セミナー	2部：マッチングフェア
専門学校	24	15	8
日本語教育機関	61	71	53
主催者・関係者（ワーキングメンバー・講演者・司会含む）	18	18	18
合計	**103**	**104**	**79**

③KPI（重要達成度指標）の設定と計測・評価

■留学生担当者向け研修会

【KPI の設定について】

項目	考え方
専門学校教職員の参加者数	教授意識を図るうえでの、目標動員数を設定する
参加者の満足度	研修会の充実した内容を図るうえで、アンケートより集計する

【KPI の設定について】

項目	2018 年度実績	**2019 年度 KPI**
専門学校教職員の参加者数	60 人	**70 人**
参加者の満足度	93.6％	**80％以上**

2018 年度の事業では、KPI で設定した参加者数・満足度はともにクリアしていたが、前年度（2017 年度）と比較した場合、参加者数は若干伸び、逆に満足度は若干低下する結果となっていた。満足度を向上させていくために、新テーマを設定。KPI としては、専門学校教職員の参加者数とアンケートにより集計する参加者の満足度を設定した。

【KPI の計測・評価】

《1》2019 年度事業成果として

項目	2019 年度 KPI	**2019 年度実績**	**達成可否**	**差異**
専門学校教職員の参加者数	**70 人**	**42 人**	**○**	**△28 人**
参加者の満足度	**80％以上**	**95.3％**	**○**	**＋15.3％**

専門学校の人数では KPI を達成できなかったが、アンケートでは満足度は KPI を上回ることができた。しかし細かくアンケートをみていくと、グループディスカッションの時間がもっとあればよかったとの声が多く聞かれた。これは「就職」という個別の対応が必要なテーマに関して、各校の担当者が情報交換や相談の場を必要としていることが強く感じられた。また、日本語教育機関からの参加も予想以上に多かった。今回のような先進的な事例に学び、現場の目線で情報共有することのできる場を継続的に提供していくことが就職を希望している留学生全体の底上げと、企業とのミスマッチの防止にもつながるのではと考える。就職につながる日本語としては、能力試験に代わる日本語能力の判断基準の必要性についても意見が出された。今後、企業等とも協働しつつ、検討していく課題である。

《2》3 か年の事業成果として

留学生担当者向け研修会　の実績推移

	2017 年度	推移	2018 年度	推移	2019 年度
項目	実績		実績		実績
専門学校教職員の参加者数	**55 人**	↗	**60 人**	↘	**42 人**
参加者の満足度	**98%**	↘	**93.6%**	↗	**95.3%**

「留学生の入口から出口までのトータルサポート」という本プロジェクトの重点項目に沿い、1 年目、2 年目は『やさしいにほんご』を、3 年目は「就職につながるアプローチ」をテーマとして、研修会を実施した。『やさしいにほんご』は、専門学校が留学生を受入れる際の心構えとして、スキルとして必要なことである。担当者一人ひとりがその重要性を認識し、各校の受入れ体制を整えるきっかけの一つとなったのではと考える。また、この取組みが学内だけにとどまらず、専門学校のある地域のグローバル化対応にも役立つことにつながることも期待される。留学生の「就職」に関しては、専門学校として大きな課題であり、日本語学校も含めて高い関心があることが改めて感じられた。ミスマッチを防ぎ、就職する留学生にとっても採用する企業にとっても満足する結果となるよう、各学校の取組みを共有し、連携していく仕組みづくりの第 1 歩となったと考える。

プログラム（２）2）留学生担当教職員向け研修会

2019 年度 文科省委託事業「専修学校グローバル化対応推進支援事業」

「留学生担当教職員向け研修会」

「日本語教師向け職業指導セミナー」

～専門学校が実践する職業教育と、その後の就職について～

【主　催】一般社団法人 大阪府専修学校各種学校連合会

【日　時】2019 年 8 月 9 日（金）

【会　場】大阪私学会館

「留学生担当教職員向け研修会」　4階講堂

「初めて留学生を指導する先生のための専門学校進学指導法」14:00～15:00

「マッチングフェア」　15:00～17:00

時 間	留学生担当教職員向け研修会 プログラム
9:30～10:00	受付　司会:中山 羊奈
10:00～10:05	挨拶 (一社)大阪府専修学校各種学校連合会 副理事長 冨永 桂多
10:05～12:00	留学生を専門学習から就職へとつなげるアプローチを考える 事例発表 ECC 国際外語専門学校　白石 一幸 大阪 YMCA 国際専門学校　望月 温 修成建設専門学校　塩田 久及 エール学園　西村 康司　（10 分×4 校＝40 分） パネルディスカッション　30 分　ファシリテーター:白石一幸 グループ討議　20 分 パネルディスカッション　25 分 （※予定）

時 間	日本語教師向け職業指導セミナー プログラム
13:30～14:00	受付　司会:鈴木 えみ
14:00～15:00	「初めて留学生に進路指導をする先生のための専門学校進学指導法」(1 部) 修成建設専門学校 理事長 (一社)大府専修学校各種学校連合会 留学生委員会 副委員長　山下 裕貴 大阪文化国際学校 専任講師 西村 大希
15:00～17:00	マッチングフェア(2 部) 参加校:ECC 国際外語専門学校、エール学園、大阪工業技術専門学校、 大阪バイオメディカル専門学校、大阪 YMCA 国際専門学校、関西社会福祉専門学校、 修成建設専門学校、清風情報工科学院、日本コンピュータ専門学校、日本理工情報専門学校、 日本メディカル福祉専門学校、愛甲農業科学専門学校

実施風景（２）２）留学生担当教職員向け研修会

留学生を専門学習から就職へとつなげるアプローチを考える　事例紹介

パネルディスカッション

実施風景（２） ２）留学生担当教職員向け研修会

グループ討議

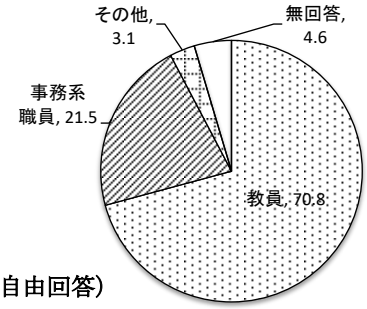
質疑応答

2019 年度　文部科学省委託事業「専修学校グローバル化対応推進支援事業」
留学生教職員向け研修会　アンケート　集計結果【全体】

実施日時：2019 年 8 月 9 日（金）10：00～12：00
アンケート回答数：合計 65 件
所属教育機関：【①日本語教育機関 36 件　②専門学校（日本課程）14 件
③専門学校（日本語学科を除く専門課程）15 件】

2.学校内での業務

	N	1 教員	2 事務系職員	3 その他	無回答
合計	65	46	14	2	3
%	100.0	70.8	21.5	3.1	4.6



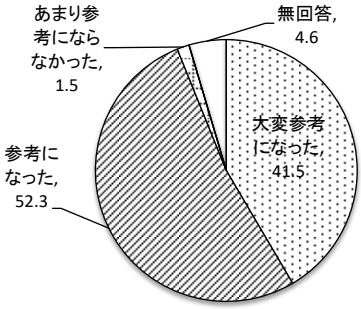
3.留学生に授業を行うにあたり困っていること（日本語教員、専門学校教員対象/自由回答）

※所属教育機関別集計の記載内容をご覧ください。

4.プログラムについてのご感想、ご意見をお聞かせください。

１）事例紹介「留学生を専門学習から就職へとつなげるアプローチを考える」

	N	1 大変参考になった	2 参考になった	3 あまり参考にならなかった	4 参考にならなかった	無回答
合計	65	27	34	1	－	3
%	100.0	41.5	52.3	1.5	－	4.6



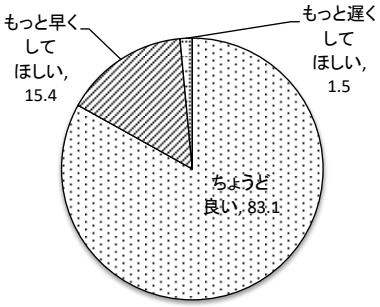
2）4-1）で 3,4 と回答した理由（自由回答）

・内容が限定的で求めている情報が少なかった。

5.開催時期、実施時間について、ご意見、ご感想をお聞かせください。

1）開催時期について

	N	1 ちょうど良い	2 もっと早くしてほしい	3 もっと遅くしてほしい	無回答
合計	65	54	10	1	－
%	100.0	83.1	15.4	1.5	－

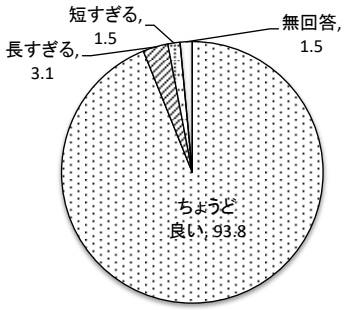


1）「もっと早くしてほしい」、「もっと遅くしてほしい」と回答した方の希望時期

・２月２票、３月１票、４月１票、５月４票、・６月１票、11 月１票、無記入１票

2）開催時間について

	N	1 ちょうど良い	2 長すぎる	3 短すぎる	無回答
合計	65	61	2	1	1
%	100.0	93.8	3.1	1.5	1.5

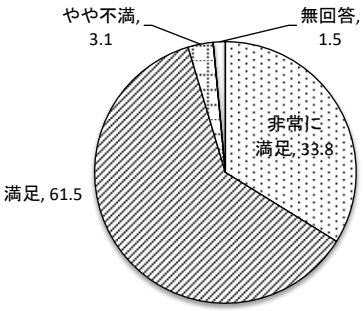


1）「長すぎる」、「短すぎる」と回答した方の希望時間

・２時間１票、３時間１票、無記入１票

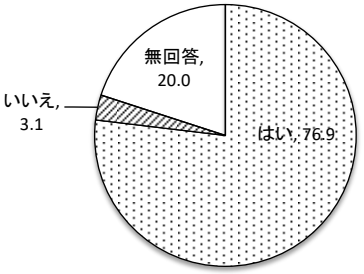
5-3）全体の満足度

	N	1 非常に満足	2 満足	3 やや不満	4 不満	無回答
合計	65	22	40	2	−	1
%	100.0	33.8	61.5	3.1	−	1.5



6-1）今後の参加意向

	N	1 はい	2 いいえ	無回答
合計	65	50	2	13
%	100.0	76.9	3.1	20.0



6-2）研修会に関するご意見・ご要望（自由回答）

※所属教育機関別集計の記載内容をご覧ください。

6-3)今後取り上げてほしいテーマ（自由回答）

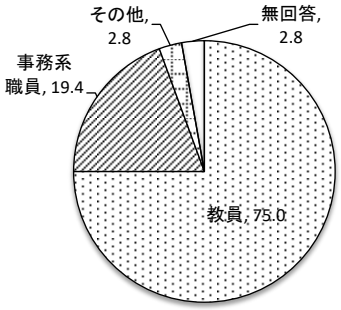
※所属教育機関別集計の記載内容をご覧ください。

2019 年度　文部科学省委託事業「専修学校グローバル化対応推進支援事業」
留学生教職員向け研修会　アンケート　集計結果【①日本語教育機関】

実施日時：2019 年 8 月 9 日（金）10：00～12：00
アンケート回答数：合計 65 件
所属教育機関：①日本語教育機関 36 件

2.学校内での業務

	n	1 教員	2 事務系職員	3 その他	無回答
日本語教育機関	36	27	7	1	1
%	100.0	75.0	19.4	2.8	2.8



3.留学生に授業を行うにあたり困っていること（日本語教員対象/自由回答）

□意欲、目標

・学生のモチベーションを保つこと。

・学習意欲の維持に難しさを感じる。JLPT 等目標があればやる気があるが、目標が無いとモチベーションがわかりやすく下がる。

□日本語能力

・漢字習得の悪さ。

・本人の日本語力に合わせた進路指導。

・入園時、日本語力が著しく低い学生がいて、クラス編成が困難であること。

・試験に合格することが日本語勉強に意義だと思っている学生に「コミュニケーションの重要性」を理解してもらう事。

・会話コミュニケーションの重要性が伝わらない。特に中国人学生。

・非漢字圏の学生が多いので JLPT の合格率が低い。

□カリキュラム

・レベルアップのためのカリキュラム作成に常に頭を抱えている。

・限られた時間で日本語以外の日本文化などを教える事。教えきれない。

・非漢字圏の学生を進学させるには時間が足りないこと。

□能力別の指導、クラス編成

・クラス内のレベルのバラつき。

・クラス内のレベル差。

・クラスの人数が多い。

□進路指導、就職

・学生の実力と希望する学校のレベルに差がある。

・就職希望の学生への指導方針が学校として明確になっていないこと。

□その他

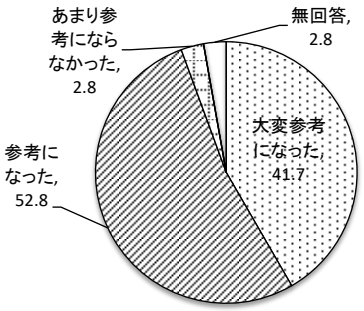
・携帯の使用。

・専門学校の募集締切が早まり、対応が大変です。

4.プログラムについてのご感想、ご意見をお聞かせください。

１）事例紹介「留学生を専門学習から就職へとつなげるアプローチを考える」

	n	1 大変参考になった	2 参考になった	3 あまり参考にならなかった	4 参考にならなかった	無回答
日本語教育機関	36	15	19	1	–	1
%	100.0	41.7	52.8	2.8	–	2.8



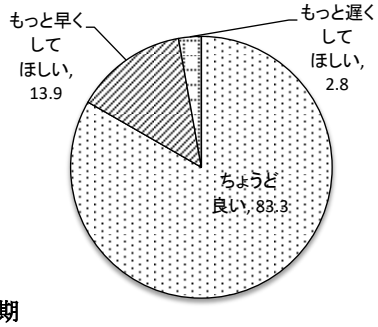
2）4-1）で 3,4 と回答した理由（自由回答）

・内容が限定的で求めている情報が少なかった。

5.開催時期、実施時間について、ご意見、ご感想をお聞かせください。

1）開催時期について

	n	1 ちょうど良い	2 もっと早くしてほしい	3 もっと遅くしてほしい	無回答
日本語教育機関	36	30	5	1	–
%	100.0	83.3	13.9	2.8	–

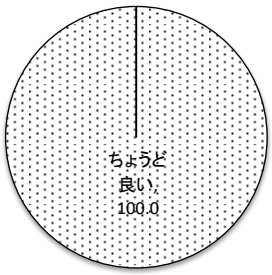


1）「もっと早くしてほしい」、「もっと遅くしてほしい」と回答した方の希望時期

・2 月 1 票、 5 月 3 票、11 月 1 票、無記入 1 票

2）開催時間について

	n	1 ちょうど良い	2 長すぎる	3 短すぎる	無回答
日本語教育機関	36	36	–	–	–
%	100.0	100.0	–	–	–

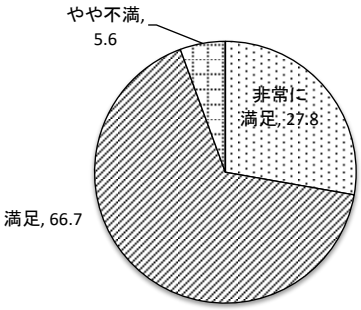


2）「長すぎる」、「短すぎる」と回答した方の希望時間

・回答なし

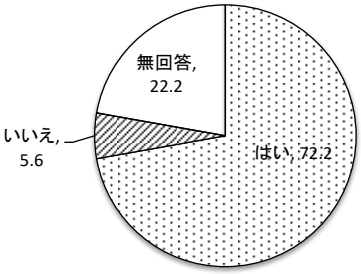
5-3）全体の満足度

	n	1 非常に満足	2 満足	3 やや不満	4 不満	無回答
日本語教育機関	36	10	24	2	–	–
%	100.0	27.8	66.7	5.6	–	–



6-1）今後の参加意向

	n	1 はい	2 いいえ	無回答
日本語教育機関	36	26	2	8
%	100.0	72.2	5.6	22.2



6-2）研修会に関するご意見・ご要望（自由回答）

□パネルディスカッション

・パネリストになった学校の様子がよくわかってとても参考になった。できるならそちらに進学させてやりたいと思った。

・4 人の先生方のパネルディスカッションをもう少し長く。そこからグループディスカッションの話ももっとできれば良かった。

□グループ討議

・グループディスカッションの時間がもう少しあれば良かった。

・グループで話時間がもっと長いと良い。また、お題があれば良かった。

・グループでのアウトプットを共有出来たら良い。

□その他

・企業側が求める人材の話も聞きたかった。

・就職プログラム、コースを作った学校の話だったので、具体的な課題が見えなかった。日本語学校で身に付けて欲しい日本語能力や企業で働く外国人の問題点の話の方が、話が進んだのでは。

・大変参考になった。ありがとうございました

・就職への道筋が具体的に分かる話が聞けて、大変参考になった。

・具体的な支援内容の話が聞けて大変参考になった。

・留学生の就職や企業が求める人材の事がわかって大変有意義だった。

・日本語学校と専門学校が手を取り合っていかなければと、痛感した。今後に活かしていきたい。

・夏休みにやっていただいたので参加できた。

□「日本語教師向け職業指導セミナー」に対するご意見

・マッチングフェアで情報収集ができて良かった。

6-3)今後取り上げてほしいテーマ（自由回答）

・留学生が見てすぐわかる進学カレンダー的なポスターを作ってくれれば嬉しい。アクションを起こす時間が遅いので。

・日本語教師ライセンスを持っていない専門学校の先生の授業での日本語をどうすべきか。

・留学生に関するメンタルヘルス、カウンセリング手法などについて。

・就職は様々なケースがあるので、事例報告だけでも大変参考になる。今後も宜しくお願いします。

・専門学校が日本語学校に求める学生の力。（日本語力、態度、その他）日本語学校から専門学校への接続をより円滑に意味のあるものに。

・ビザ許可のノウハウ。

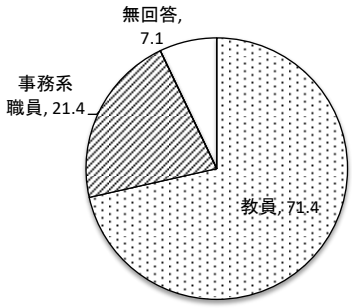
・特定技能と就職。

2019 年度 文部科学省委託事業「専修学校グローバル化対応推進支援事業」
留学生教職員向け研修会 アンケート 集計結果【②専門学校(日本語課程)】

実施日時:2019 年 8 月 9 日(金)10:00～12:00
アンケート回答数:合計 65 件
所属教育機関:②専門学校(日本語課程)14 件

2.学校内での業務

	n	1 教員	2 事務系職員	3 その他	無回答
専門学校(日本語課程)	14	10	3	−	1
%	100.0	71.4	21.4	−	7.1



3.留学生に授業を行うにあたり困っていること（日本語教員、専門学校教員対象/自由回答）

□意欲、目標

・やる気や目的意識の無い学生にどのように指導したら良いか困っている。

・目的の定かでない学生の指導。

・目標がない学生が意欲的に授業に取り組めるようになるにはどうすれば良いか。

□日本語能力

・分りやすい日本語の使い方。

・読み書きができない。自分で進学先を探せない。

□進路指導、就職

・就職希望の学生の扱い。

□能力別の指導、クラス編成

・クラス内でのレベル格差。非漢字国の学習指導。

□文化、習慣

・習慣の違い。

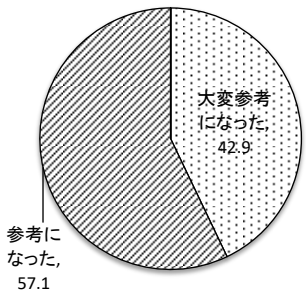
□その他

・本校は特殊な医療系の学校で、日本人でも働く意味を見つけがたい。外国の学生ではなおさら垣根が上がる。医学系で留学生にどう対応すればよいか。

4.プログラムについてのご感想、ご意見をお聞かせください。

1）事例紹介「留学生を専門学習から就職へとつなげるアプローチを考える」

	n	1 大変参考になった	2 参考になった	3 あまり参考にならなかった	4 参考にならなかった	無回答
専門学校(日本語課程)	14	6	8	−	−	−
%	100.0	42.9	57.1	−	−	−



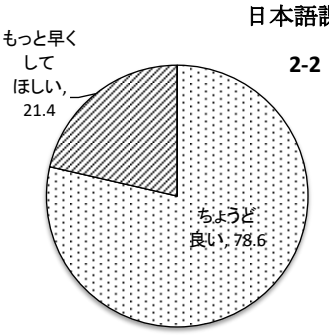
2）4-1）で 3,4 と回答した理由（自由回答）

・該当する回答なし

5.開催時期、実施時間について、ご意見、ご感想をお聞かせください。

1）開催時期について

	n	1 ちょうど良い	2 もっと早くしてほしい	3 もっと遅くしてほしい	無回答
専門学校（日本語課程）	14	11	3	−	−
%	100.0	78.6	21.4	−	−

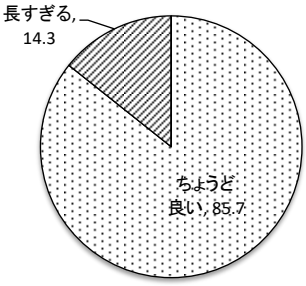


1）「もっと早くしてほしい」、「もっと遅くしてほしい」と回答した方の希望時期

・4 月 1 票、 5 月 1 票、6 月 1 票

2）開催時間について

	n	1 ちょうど良い	2 長すぎる	3 短すぎる	無回答
専門学校（日本語課程）	14	12	2	−	−
%	100.0	85.7	14.3	−	−

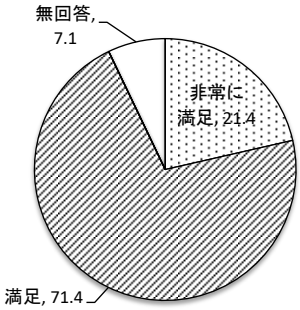


2）「長すぎる」、「短すぎる」と回答した方の希望時間

・2 時間 1 票、 無記入 1 票

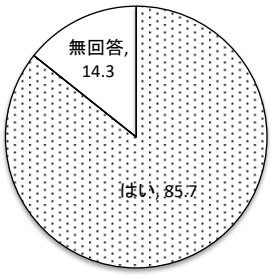
5-3）全体の満足度

	n	1 非常に満足	2 満足	3 やや不満	4 不満	無回答
専門学校（日本語課程）	14	3	10	−	−	1
%	100.0	21.4	71.4	−	−	7.1



6-1）今後の参加意向

	n	1 はい	2 いいえ	無回答
専門学校（日本語課程）	14	12	−	2
%	100.0	85.7	−	14.3



6-2）研修会に関するご意見・ご要望（自由回答）

・特定技能ビザの現状

・グループディスカッションの時間がもう少し欲しかった。
時間が足りず、自己紹介程度で終わってしまって勿体なかった。

・実践的な活動があればよかった。

・医学系での留学生対応。

・グループで自分の学校紹介を他の学校の先生方にする時間がもう少し長い方が良いと感じた。

6-3)今後取り上げてほしいテーマ（自由回答）

・学生への指導法。

・就労ビザ取得に関する学習内容と企業の職種とのマッチング。

・医学に対する外国人の捉え方。

・授業方法の詳細。

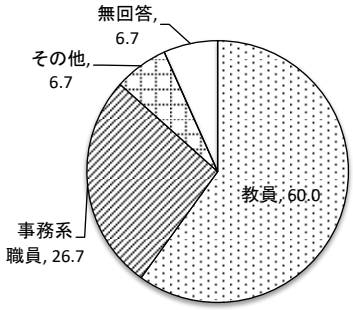
・求人やインターンシップ先の開拓方法。特定技能ビザに関して各校でどのような対応をしているかなど。

2019 年度 文部科学省委託事業「専修学校グローバル化対応推進支援事業」
留学生教職員向け研修会 アンケート 集計結果【③専門学校】

実施日時:2019 年 8 月 9 日(金)10:00～12:00
アンケート回答数:合計 65 件
所属教育機関:③専門学校 15 校(日本語学科を除く専門課程)

2.学校内での業務

	n	1 教員	2 事務系職員	3 その他	無回答
専門学校(日本語学科を除く専門課程)	15	9	4	1	1
%	100.0	60.0	26.7	6.7	6.7



3.留学生に授業を行うにあたり困っていること(専門学校教員対象/自由回答)

□意欲、目標

・各個人の日本語能力やモチベーションの差。

□日本語能力

・日本語力、N2 などコミュニケーション力のギャップ。

・留学生の日本語能力、理解の低さ。

・日本語能力が低下している。

□カリキュラム

・日本語能力や理解に差があり、どこを基準にするか。(日本人学生も同クラスのため)

□進路指導、就職

・進学先、就職先とのマッチング。特に就職の場合、内定はもらえるが技・人・国で不許可になる場合。

□文化、習慣

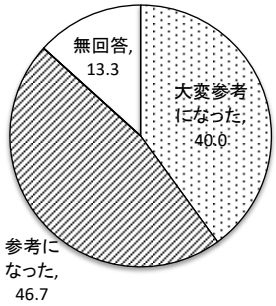
・習慣の違い。

・日本や学校のルールを理解しているというが、自国のルールと混同している。

4.プログラムについてのご感想、ご意見をお聞かせください。

1)事例紹介「留学生を専門学習から就職へとつなげるアプローチを考える」

	n	1 大変参考になった	2 参考になった	3 あまり参考にならなかった	4 参考にならなかった	無回答
専門学校(日本語学科を除く専門課程)	15	6	7	−	−	2
%	100.0	40.0	46.7	−	−	13.3



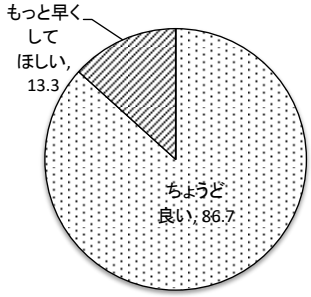
2) 4-1) で 3,4 と回答した理由(自由回答)

※該当回答無し

5.開催時期、実施時間について、ご意見、ご感想をお聞かせください。

1) 開催時間について

	n	1 ちょうど良い	2 もっと早くしてほしい	3 もっと遅くしてほしい	無回答
専門学校(日本語学科を除く専門課程)	15	13	2	−	−
%	100.0	86.7	13.3	−	−



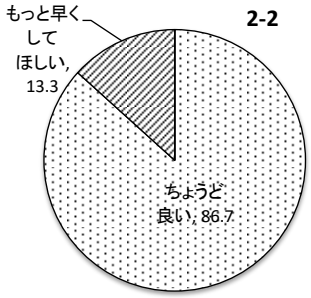
1) 「もっと早くしてほしい」、「もっと遅くしてほしい」と回答した方の希望時期

・2 月 1 票、 3 月 1 票

5.開催時期、実施時間について、ご意見、ご感想をお聞かせください。　　専門学校

1）開催時期について

	n	1 ちょうど良い	2 もっと早くしてほしい	3 もっと遅くしてほしい	無回答
専門学校（日本語学科を除く専門課程）	15	13	2	－	－
%	100.0	86.7	13.3	－	－

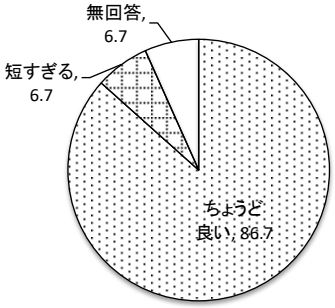


1）「もっと早くしてほしい」、「もっと遅くしてほしい」と回答した方の希望時期

・2月1票、 3月1票

2）開催時間について

	n	1 ちょうど良い	2 長すぎる	3 短すぎる	無回答
専門学校（日本語学科を除く専門課程）	15	13	－	1	1
%	100.0	86.7	－	6.7	6.7

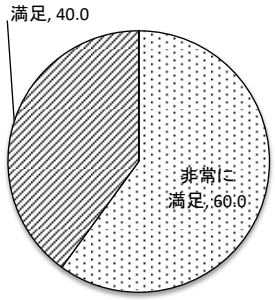


2）「長すぎる」、「短すぎる」と回答した方の希望時間

・3時間1票

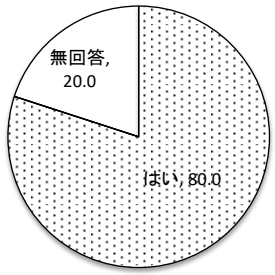
5-3）全体の満足度

	n	1 非常に満足	2 満足	3 やや不満	4 不満	無回答
専門学校（日本語学科を除く専門課程）	15	9	6	－	－	－
%	100.0	60.0	40.0	－	－	－



6-1）今後の参加意向

	n	1 はい	2 いいえ	無回答
専門学校（日本語学科を除く専門課程）	15	12	－	3
%	100.0	80.0	－	20.0



6-2）研修会に関するご意見・ご要望（自由回答）

・グループ分けしたので、もう少しグループでの会話の時間があればと思った。
・グループ討議の時間がもう少しあれば。
・とても参考になった。ありがとうございました。
・共感する部分が多くあった。
・日本語、コミュニケーション向上にはどうすれば良いか悩みながら日々指導しています。今回のようにノウハウの共有があると参考になります。

6-3)今後取り上げてほしいテーマ（自由回答）

・特定活動の事例、技・人・国の事例。
・留学生の就職アプローチについて。
・留学生の適切な管理方法について。
・企業が留学生に求めるスキル等、様々なケースを聞きたい。
・ビザ手続きについて。就労の在留資格、特に特定技能の概要について。

アンケート調査票

2019 年度　文部科学省委託事業 「専修学校グローバル化対応推進支援事業」

留学生担当教職員向け研修会　アンケート

本日は研修会にご参加いただき、誠にありがとうございます。今後の事業の参考にさせていただきますので、ご感想やご意見をお聞かせください。ご協力の程、どうぞ宜しくお願いいたします。**以下、いずれかに☑チェックを入れてご回答ください。**

1. どの教育機関に所属をされていますか？

□①日本語教育機関　□②専門学校（日本語課程）　□③専門学校（日本語学科を除く専門課程）

2. 学校内での業務についてお答えください。

□①教員　□②事務系職員等　□④その他

3. 日本語教員、専門学校教員の方にお伺いします。留学生に授業を行うに当たり困っている事は何ですか？

4. プログラムについてご感想、ご意見をお聞かせください。

1）.事例発表「留学生を専門学習から就職へとつなげるアプローチを考える」

□①大変参考になった　□②参考になった　□③あまり参考にならなかった　□④参考にならなかった

上記で③または④と、ご回答いただいた方のみ、お手数ですが参考までにご意見をお願いします。

5. 本研修会の開催時期、実施時間について、ご意見ご感想をお聞かせください。

1）開催時期について

□①ちょうど良い　□②もっと早くして欲しい（具体的に:__月頃）　□③もっと遅くして欲しい（具体的に:__月頃）

2）実施時間について

□①ちょうど良い　□②長すぎる（具体的に:__時間位ならよい）　□③短すぎる（具体的に:__時間位ならよい）

3）.研修会全体の満足度について

□①非常に満足　□②満足　□③やや不満　□④不満

6. 今後についてご意見をお聞かせください。

1）今後、本日と同様の研修会があれば参加したいと思いますか。　□①はい　□②いいえ

2）本日の研修会に関するご意見・ご要望がございましたら、何でも自由にご記入ください。

3）今後取り上げてほしいテーマがございましたら、ご記入ください。

アンケートにご協力いただき、誠にありがとうございました。

一般社団法人 大阪府専修学校各種学校連合会

※このアンケートによって提供いただいた情報は 2019 年度　文部科学省委託事業 「専修学校グローバル化対応推進支援事業」の結果報告として使用致します。

３）企業向け　留学生採用企業交流会

①概要

留学生の入口から出口までをしっかりと支援するためには、企業交流会は必要不可欠である。そういった意味で、大専各では毎年、大阪商工会議所との共催で留学生を採用している（検討している）企業を集めて、専門学校教職員との交流会を開催している。この成果は年々参加者数を増やしている。〔参照図-7〕

また、プログラム内容もその時折を考慮して工夫を図っており、参加者の満足度も向上しているといえる（2017 年度 60％以上、2018 年度 80％以上）。特に前年度（2018 年度）は、専門学校で学んでいる留学生の参加をテストケースとして行ったところ、企業にとっては留学生の高い日本語力や強い就職意欲などを直接理解してもらう機会となった。また参加した留学生も就職活動や日本で働くアドバイスなどを企業からもらえる双方にとってメリットある交流会であった。

そういった中で前述している通り、2019 年 4 月から新たな在留資格（特定技能）がスタートした。また企業にとっては人出不足解消のため、外国人雇用も積極的に行っていこうという声がでている。こういった状況に対して、今だからこそ専門学校の職業教育は高水準であり、学んでいる留学生の質の高さなどを PR できる場が必要だと考える。よって、2019 年度も企業交流会を開催し、本事業の目的である「留学生の入口から出口まで」をトータルに支援できるようにつとめた。

〔参照図-7〕　大専各主催　企業交流会参加者推移

	企業関係者	専門学校関係者	行政・その他	備考
平成29年度	73	46	10	
平成30年度	89	58	49	（その他）に留学生28名含む

②具体的活動

留学生を採用している（検討している）企業、行政、専門学校教職員、専門学校で学ぶ留学生を対象とした企業交流会を開催。

1）プログラム

「外国人留学生採用企業交流会
～企業と専門学校教職員、専門学校在籍の外国人留学生による交流会～」

【日時】2019 年 10 月 30 日（水）13：30-17：00

【会場】大阪私学会館

【プログラム】

＜挨拶＞

大阪府専修学校各種学校連合会　副理事長　　冨永 桂多

大阪商工会議所 人材育成委員会　委員長　長谷川 惠一

Ⅰ部　＜パネルディスカッション＞

「人手不足、人材不足について考える」

株式会社ダイブ　外国人人材サービスユニット マネージャー　菅沼 基

アジア・ビジネス創出プラットフォーム（ABC プラットフォーム)プロジェクトマネージャー
萩原 大作

Ⅱ部　＜トークセッション＞

「日本企業に就職する留学生　×　専門学校教職員」　　ファシリテーター：山下 裕貴

①介護業界に就職する

カリカ・キレイ・エレイソン・キミン（フィリピン 近畿社会福祉専門学校 在校生）

アドカマング・トリニティー（フィリピン 近畿社会福祉専門学校 在校生）

近畿社会福祉専門学校 校長　桝 豪司

②製造業界、建築業界に就職する

ライ バン ルオン（ベトナム　大阪工業技術専門学校 在校生）

クン ワイ ミン（マレーシア　大阪工業技術専門学校 在校生）

大阪工業技術専門学校　宗田 宜士

＜休憩（10 分）＞

「活躍する専門学校留学生 OB　×　企業人事担当者」　　ファシリテーター：柴田 聖子

①トヨタカローラ新大阪株式会社勤務

ADHIKARI　ARJUN（ｱﾃﾞｨｶﾘ　ｱﾙｼﾞｭﾝ）ネパール 日本理工情報専門学校 卒

トヨタカローラ新大阪株式会社・ネッツトヨタ新大阪株式会社　総務部　マネージャー

岡田 龍二

②株式会社 テェルウィンコーポレーション　ウェスティンホテル大阪勤務

レストランサービス課アマデウス　葉 昱均(ヨウ ヨウキン)台湾 大阪 YMCA 国際専門学校 卒

株式会社 テェルウィンコーポレーション　ウェスティンホテル大阪　人事部課長　植村 守

Ⅲ部　＜情報交換会（名刺交換会）＞ 専門学校ブースのご案内

参加者同士による自由な情報・名刺交換の場を設けた。会場後方には、留学生が在校している専門学校のブースを設置し、企業様にご訪問いただきやすい工夫を行った。

なお、特別ゲストとして、フィリピンとミャンマーで日本語教育に携わっている大学教員と学生をお招きし、交流を深めた。

□フィリピン

デ・ラ・サール大学　国際学部日本学科教授　ヒエイダ ベルナデット（ジェン）先生

国際学部日本学科在籍　ロ　ジャスティン　トリシャさん

□ミャンマー

ヤンゴン外国語大学　日本語学科准教授　チョートゥ先生

日本語学科在籍　　カンゾーナインさん

＜閉会の挨拶＞大阪商工会議所　人材開発部長　大阪企業家ミュージアム　事務局長　興津　厚志

③KPI（重要達成度指標）の設定と計測・評価

■企業向け　留学生採用企業交流会

【KPI の設定について】

項目	考え方
交流会の参加者数	興味・関心を図るうえでの、目標動員数を設定する
参加者の満足度	交流会の内容を図るうえで、アンケートより集計する

【2019 年度 KPI の設定】

項目	2018 年度実績	**2019年度　KPI**
交流会の参加者数	196 人	**200 人**
参加者の満足度	85.9%	**70%以上**

2018 年度開催は、近年で一番多くの参加者、ならびに来場者満足度を得ることができた。2019 年度においては、新しい就労ビザ（特定技能）などについても話題提供できる企業交流会を開催するため、上記のような設定を行った。

【KPI の計測・評価】

《1》**2019 年度事業成果として**

項目	2019 年度 KPI	**2019年度実績**	**達成可否**	**差異**
交流会の参加者数	**200 人**	**158 人**	×	**△42 人**
参加者の満足度	**70%以上**	**78.4%**	○	**＋8.4%**

※交流会参加者の内訳を 2018 年度と比較

	2019 年度	2018 年度
専門学校	82	86
企業	69	89
行政・その他等	7	21
合計	**158**	**196**

2019 年度は、KPI に対して参加者数が未達成。満足度は達成という結果だった。そして両項目とも前年の 2018 年度と比べると数値を落としている。要因として、動員は同日に企業向けの留学生採用交流会が開催されたこともあり、少々企業側の集まりが厳しかった。また満足度については、前述している新しい就労ビザ（特定技能）に対する想いが、企業側・専門学校側とある意味相反したところもあった。この点は、プログラム内の『人手不足と人材不足』という観点で、講演者がしっかりとまとめてくれたものの、まだまだ議論が必要だといえるのではないか。なお、3 部に実施した専門学校ブースでの情報交換会は、満足度からみると改善は必要だが、企画意図が専門学校・企業の双方にとって理解しやすく、改良を重ねれば十分に満足度をあげられると感じた。

《2》3 か年の事業成果として

留学生採用企業交流会　の実績推移

	2017 年度	推移	2018 年度	推移	2019 年度
項目	実績		実績		実績
交流会の参加者数	**151 人**	↗	**196 人**	↘	**158 人**
参加者の満足度	**70%**	↗	**93.6%**	↘	**78.4%**

交流会の参加者人数 内訳

	2017 年度	2018 年度	2019 年度
専門学校	68 人	86 人	82 人
企業	73 人	89 人	69 人
行政・その他等	10 人	21 人	7 人
合計	**151 人**	**196 人**	**158 人**

3 か年通して大阪商工会議所にも協力いただき、多くの企業と交流することができた。

参加いただいた方々の満足度は、3 年間平均で 78.1%となり、高い成果だったと感じている。そして各年度において、プログラム内容も少しずつ変えていき、企業側、専門学校側のニーズや想いを汲み取ることができたのではないか。その中でも専門学校が行う職業教育をしっかり伝えることができ、企業にとっては留学生の採用意欲を促進できる機会となり、参加した留学生達も日本で働くための心構え等を感じ取れる等、双方にとって有効な交流会であったと考える。

このような交流会は大阪の場合、TCE 財団が別事業で行っている「東南アジア 8 か国との連携事業」にも関連している。2018 年度・2019 年度では、海外で日本語教育に携わっている大学教員・学んでいる学生を招聘し、大阪の専門学校視察を行ってもらいだけでなく、この企業交流会にタイミングを合わせて参加してもらっている。そのような意味でも、この企業交流会は、日本国内の企業・専門学校との交流だけでなく、海外に向けての発信に一躍を担えたと考える。

また、このような交流会を通して、大阪観光局や JETRO といった他団体とも関係性が深まり、今後の留学生支援において心強いサポートが期待できる。

プログラム （２）３）外国人留学生採用企業交流会

2019 年度 文部科学省「専修学校グローバル化対応推進支援事業」

「外国人留学生採用企業交流会」～企業と専門学校教職員、専門学校在籍の外国人留学生による交流会～

【主催】一般社団法人 大阪府専修学校各種学校連合会【共催】大阪商工会議所【日時】2019 年 10 月 30 日（水）13:30～17:00【会場】大阪私学会館 4 階講堂

時 間	プログラム
13:00～	受付　　司会：望月　温
13:30～13:40	＜挨拶＞大阪府専修学校各種学校連合会　副理事長　冨永　桂多 大阪商工会議所　人材育成委員会　委員長　長谷川　惠一
13:40～14:30 （50 分）	**Ⅰ部　＜パネルディスカッション＞** **・「人手不足、人材不足について考える」** 株式会社ダイブ　外国人人材サービスユニット マネージャー　菅沼　基 アジア・ビジネス創出プラットフォーム（ABC プラットフォーム） プロジェクトマネージャー　萩原　大作 「質疑応答」
14:30～15:10 （40 分）	**Ⅱ部　＜トークセッション＞** **・「日本企業に就職する留学生　×　専門学校教職員」**　ファシリテーター：山下　裕貴 ①介護業界に就職する カリカ・キレイ・エレイソン・キミン（フィリピン　近畿社会福祉専門学校　在校生） アドカマング・トリニティー（フィリピン　近畿社会福祉専門学校　在校生） 近畿社会福祉専門学校　校長　桝　豪司 ②製造業界、建築業界に就職する ライ バン ルオン（ベトナム　大阪工業技術専門学校　在校生） クン ワイ ミン（マレーシア　大阪工業技術専門学校　在校生） 大阪工業技術専門学校　宗田　宜士
15:20～16:10 （50 分）	＜休憩（10 分）＞ **・「活躍する専門学校留学生 OB　×　企業人事担当者」**　ファシリテーター：柴田　聖子 ①トヨタカローラ新大阪株式会社勤務 ADHIKARI　ARJUN（ｱﾃﾞｨｶﾘ　ｱﾙｼﾞｭﾝ）ネパール　日本理工情報専門学校　卒 トヨタカローラ新大阪株式会社・ネッツトヨタ新大阪株式会社）総務部　マネージャー　岡田　龍二 ②株式会社　テェルウィンコーポレーション　ウェスティンホテル大阪勤務 レストランサービス課アマデウス　葉　昱均(ヨウ　ヨウキン)台湾　大阪 YMCA 国際専門学校　卒 株式会社　テェルウィンコーポレーション　ウェスティンホテル大阪　人事部課長　植村　守
16:10～17:00 （50 分）	**Ⅲ部　＜情報交換会（名刺交換会）＞　専門学校ブースのご案内** 参加者同士による自由な情報・名刺交換の場です。また、会場後方に留学生が在校している専門学校のブースを設けます。なお、特別ゲストとして、フィリピンとミャンマーで日本語教育に携わっている大学教員と学生をお招きしています。 フィリピン：デ・ラ・サール大学（国際学部日本学科教授　ヒエイダ　ベルナデット（ジェン）先生、国際学部日本学科在籍　ロジャスティン　トリシャさん） ミャンマー：ヤンゴン外国語大学　日本語学科准教授　チョートゥ先生日本語学科在籍　カンゾーナインさん ＜閉会の挨拶＞大阪商工会議所　人材開発部長　大阪企業家ミュージアム　事務局長　興津　厚志

案内状（２）３）外国人留学生採用企業交流会

ご代表者様・人事ご担当者様

２０１９年度「専修学校グローバル化対応推進支援事業」
主催：一般社団法人大阪府専修学校各種学校連合会（大専各）
共催：大阪商工会議所

外国人留学生採用企業交流会　開催ご案内

～企業と専門学校職員、専門学校在籍の外国人留学生による交流会　～

大阪商工会議所と一般社団法人大阪府専修学校各種学校連合会（大専各）では、専門学校に在籍する外国人留学生の現状について理解いただくため、下記の通り、留学生の採用を検討されている企業と大阪府内専門学校の教職員、及び専門学校留学生とのセミナー・交流会を開催します。

当日は、専門学校で学び、日本企業に就職予定の外国人留学生と担当教員、留学生を採用・育成されている企業様と専門学校留学生のＯＢ、ＯＧによるトークセッションセッションも行います。外国人留学生の採用経験のない企業様の採用前後の処遇、育成等の不安を解消し、企業様、留学生双方の理解を深める交流の場となれば幸いです。

専門学校在籍の留学生についてご理解いただける絶好の機会かと存じますので、ご参加賜りたく、ご案内申し上げます。

＜日　時＞　２０１９年１０月３０日（水）１３：３０～１７：００（※受付１３：００～）
＜会　場＞　大阪私学会館　４階ホール（大阪市都島区網島町６－２０）
＜参加予定者＞　①外国人留学生の採用計画のある、または検討をしている企業の経営者・人事担当者
②大阪府の認可を受けている、外国人留学生が在籍する専門学校、各種学校の役員・担当者
③大阪府内の専門学校に在籍する外国人留学生
＜参加費＞　無料　　＜定　員＞　２００名（うち企業関係者１００人・申込先着順）
＜プログラム＞Ⅰ部．〈パネルディスカッション〉　「人手不足、人材不足について考える」
株式会社ダイブ　外国人人材サービスユニット　マネージャー　菅沼　基
アジア・ビジネス創出プラットフォーム(ABC プラットフォーム)プロジェクトマネージャー　萩原　大作
Ⅱ部．〈トークセッション〉
・日本企業に就職予定の外国人留学生　×　専門学校教職員
①介護業界に就職する　カリカ・キレイ・エレイソン（フィリピン 近畿社会福祉専門学校 在校生）
アドカマング・トリニティー（フィリピン 近畿社会福祉専門学校 在校生）
近畿社会福祉専門学校校長　桝　豪司
②製造業界、建築業界に就職する
ライ バン ルオン（ベトナム　大阪工業技術専門学校 在校生）
クン ワイ ミン（マレーシア　大阪工業技術専門学校 在校生）
大阪工業技術専門学校　宗田　宣士
・日本企業で活躍する専門学校留学生ＯＢ　×　企業関係者
①トヨタカローラ新大阪株式会社勤務
ADHIKARI　ARJUN（ｱﾃﾞｨｶﾘ　ｱﾙｼﾞｭﾝ）ネパール 日本理工情報専門学校 卒
トヨタカローラ新大阪株式会社・ネッツトヨタ新大阪株式会社）総務部　マネージャー 岡田龍二
②株式会社テェルウィンコーポレーション ウェスティンホテル大阪 ヨウ ヨウキン氏（台湾、大阪 YMCA 国際専門学校 卒）
株式会社テェルウィンコーポレーション ウェスティンホテル大阪　人事部課長　植村　守
Ⅲ部．〈情報交換・交流会〉
・特別ゲストとして、マレーシア・ミャンマーの日本語教育に携わっておられる大学教員をお招きします。

＜申込方法＞下記の申込書に必要事項をご記入のうえ、FAX にてお申し込みください。FAX の受取をもってお申込完了とさせていただきます。（参加決定の連絡はございませんので、あらかじめご了承ください。）
＜申込締切＞２０１９年１０月２３日（水）
＜申込み・お問合せ先＞ 一般社団法人 大阪府専修学校各種学校連合会（小林）　ＴＥＬ:０６－６３５２－００４８

申　込　書

※切り取らずにＦＡＸしてください

ＦＡＸ：０６－６３５２－７５５３　　（一社）大阪府専修学校各種学校連合会・小林 行

企業・団体名			
ご担当者氏名①	フリガナ	部署・役職名	
ご担当者氏名②	フリガナ	部署・役職名	
所在地	〒		
ＴＥＬ		ＦＡＸ	

※ご記入いただいた情報は、大阪商工会議所および一般社団法人 大阪府専修学校各種学校連合会間で共同利用し、本事業の事務業務に利用するとともに、両者からの各種連絡・情報提供に利用します。また、講演者やトークセッション出演者へ参加者名簿として提供します。これらについては参加者ご本人に同意いただいたものとして取り扱わせていただきます。

実施風景（２） ３）外国人留学生採用企業交流会

第1部：パネルディスカッション「人手不足、人材不足について考える」

質疑応答

第2登壇者

第2部：トークセッション「日本企業に就職する留学生×専門学校教職員」

実施風景（２） ３）外国人留学生採用企業交流会

活躍する専門学校留学生OB×企業人事担当者

東南アジア8カ国との連携プロジェクトより招聘者

第三部：情報交換会

専門学校ブース

アンケート調査結果　（２）３）外国人留学生採用企業交流会

（全体、企業、公務、専門学校３種に分けて調査報告）

全体

2-1

2019 年度　文部科学省委託事業「専修学校グローバル化対応推進支援事業」
外国人留学生採用企業交流会　アンケート　集計結果【①全体】

実施日時：2019 年 10 月 30 日（水）13：30～17：00

アンケート回答数：合計 66 件

所属業種等：【①全体　66 件　②企業　40 件　③公務　2 件　④専門学校関係者　23 件　※無回答 1 件】

1.貴団体の業種（複数回答　※2件複数回答あり）

	合計	1. 農業・林業	2. 漁業	3. 鉱業、採石業、砂利採取業	4. 建築業	5. 製造業	6. 電気・ガス・熱供給、水道業	7. 情報通信業	8. 運輸業、郵便業	9. 卸売、小売業	10. 金融、保険業	11. 不動産業、物品賃貸業	12. 学術研究、専門・技術サービス業	13. 宿泊業、飲食サービス業
数	66	0	0	0	1	5	0	6	2	3	2	2	0	1
%		0.0	0.0	0.0	1.5	7.6	0.0	9.1	3.0	4.5	3.0	3.0	0.0	1.5

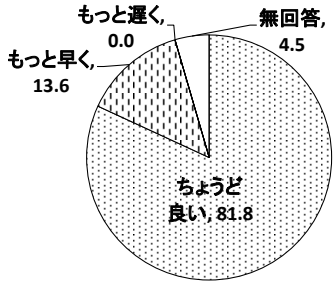
14. 生活関連サービス業、娯楽業	15. 医療	16. 福祉関係（社会福祉、介護）	17. 放送業、新聞、出版	18. 広告業	19. 流通	20. 教育、学習支援業	21. その他複合サービス業	22. その他	23. 公務	24. 専門学校関係者	25. 無回答
1	1	2	0	5	1	5	2	3	2	23	1
1.5	1.5	3.0	0.0	7.6	1.5	7.6	3.0	4.5	3.0	34.8	1.5

↓
その他
人材紹介・派遣3

Q2-1開催時期について

	N	1 ちょうど良い	2 もっと早く	3 もっと遅く	無回答
合計	66	54	9	－	3
%	100.0	81.8	13.6	－	4.5

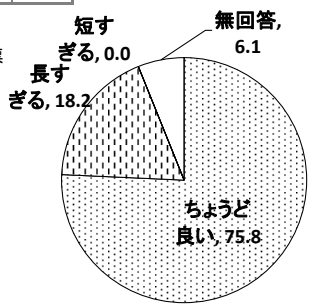
↓
「7月」 1票
「8月」 1票
「9月」 4票
無記入：3票



Q2-2実施時間について

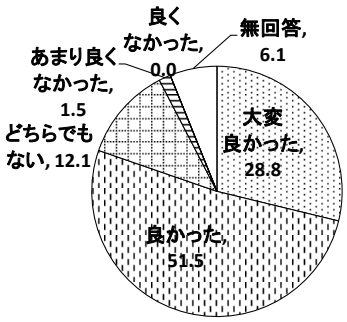
	N	1 ちょうど良い	2 長すぎる	3 短すぎる	無回答
合計	66	50	12	－	4
%	100.0	75.8	18.2	－	6.1

↓
「2時間」 7票
「2.5時間」 1票
「3時間」 2票
無記入：2票



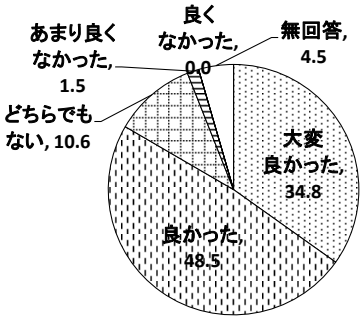
Q3-1講演評価「人手不足、人材不足について考える」

	N	1 大変良かった	2 良かった	3 どちらでもない	4 あまり良くなかった	5 良くなかった	無回答
合計	66	19	34	8	1	－	4
%	100.0	28.8	51.5	12.1	1.5	－	6.1



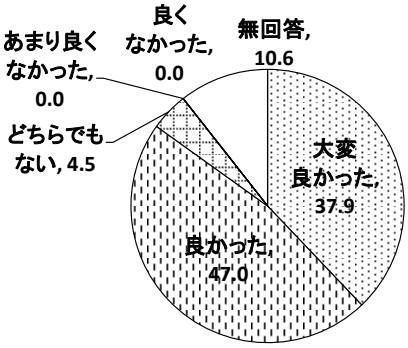
Q3-2トークセッション評価「日本企業に就職する留学生×専門学校職員」

	N	1 大変良かった	2 良かった	3 どちらでもない	4 あまり良くなかった	5 良くなかった	無回答
合計	66	23	32	7	1	－	3
%	100.0	34.8	48.5	10.6	1.5	－	4.5



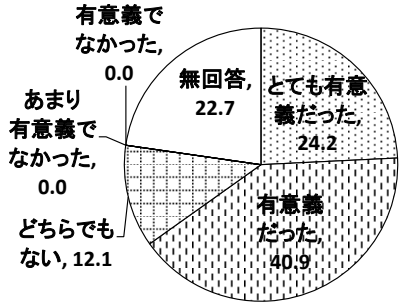
Q3-3トークセッション評価「活躍する専門学校留学生OB×企業人事担当者」

	N	1 大変良かった	2 良かった	3 どちらでもない	4 あまり良くなかった	5 良くなかった	無回答
合計	66	25	31	3	−	−	7
%	100.0	37.9	47.0	4.5	−	−	10.6



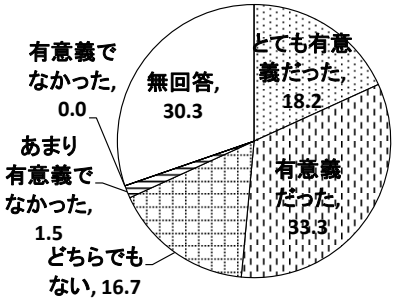
Q4情報交換会について、十分な情報交換ができましたか？

	N	1 とても有意義だった	2 有意義だった	3 どちらでもない	4 あまり有意義でなかった	5 有意義でなかった	無回答
合計	66	16	27	8	−	−	15
%	100.0	24.2	40.9	12.1	−	−	22.7



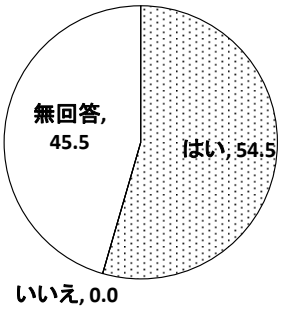
Q5専門学校ブースについて、十分な情報交換ができましたか？

	N	1 とても有意義だった	2 有意義だった	3 どちらでもない	4 あまり有意義でなかった	5 有意義でなかった	無回答
合計	66	12	22	11	1	−	20
%	100.0	18.2	33.3	16.7	1.5	−	30.3



Q6-2今後、同様の交流会があれば参加したいと思いますか。

	N	1 はい	2 いいえ	無回答
合計	66	36	−	30
%	100.0	54.5	−	45.5

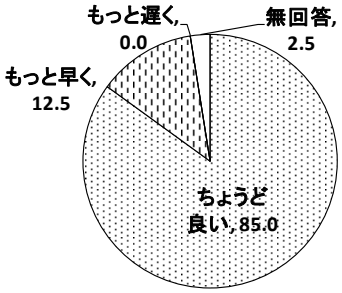


※6－１）～７－２）の自由回答は、３ページ以降に掲載。

Q2-1開催時期について

	N	1 ちょうど良い	2 もっと早く	3 もっと遅く	無回答
企業	40	34	5	−	1
%	100.0	85.0	12.5	−	2.5

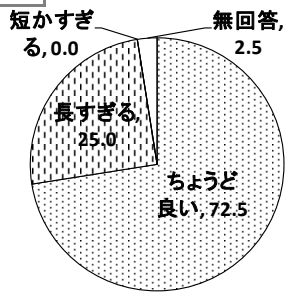
↓
「9月」 3票
無記入：2票



Q2-2実施時間について

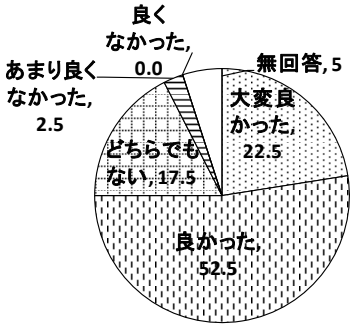
	N	1 ちょうど良い	2 長すぎる	3 短かすぎる	無回答
企業	40	29	10	−	1
%	100.0	72.5	25.0	−	2.5

↓
「2時間」 6票
「3時間」 2票
無記入：2票



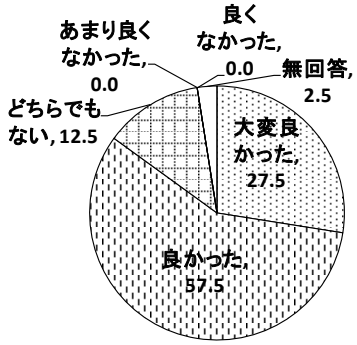
Q3-1講演評価「人手不足、人材不足について考える」

	N	1 大変良かった	2 良かった	3 どちらでもない	4 あまり良くなかった	5 良くなかった	無回答
企業	40	9	21	7	1	−	2
%	100.0	22.5	52.5	17.5	2.5	−	5



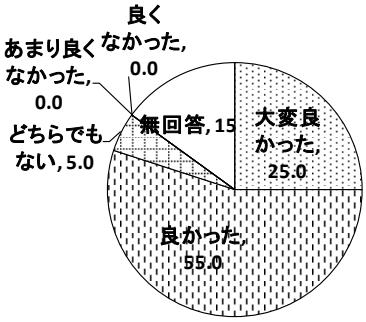
Q3-2トークセッション評価「日本企業に就職する留学生×専門学校職員」

	N	1 大変良かった	2 良かった	3 どちらでもない	4 あまり良くなかった	5 良くなかった	無回答
企業	40	11	23	5	−	−	1
%	100.0	27.5	57.5	12.5	−	−	2.5



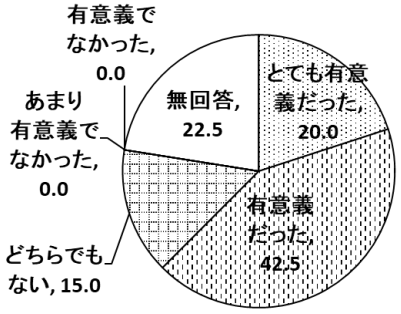
Q3-3トークセッション評価「活躍する専門学校留学生OB×企業人事担当者」

	N	1 大変良かった	2 良かった	3 どちらでもない	4 あまり良くなかった	5 良くなかった	無回答
企業	40	10	22	2	−	−	6
%	100.0	25.0	55.0	5.0	−	−	15



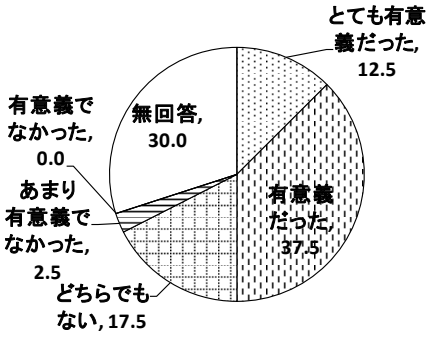
Q4情報交換会について、十分な情報交換ができましたか？

	N	1 とても有意義だった	2 有意義だった	3 どちらでもない	4 あまり有意義でなかった	5 有意義でなかった	無回答
企業	40	8	17	6	−	−	9
%	100.0	20.0	42.5	15.0	−	−	22.5



Q5専門学校ブースについて、十分な情報交換ができましたか？

	N	1 とても有意義だった	2 有意義だった	3 どちらでもない	4 あまり有意義でなかった	5 有意義でなかった	無回答
企業	40	5	15	7	1	−	12
%	100.0	12.5	37.5	17.5	2.5	−	30.0



Q6-1 本日の交流会に関するご意見、ご要望　　企業 2-2

・特定技能がまだ 600 人ほどしかいないのが何故か知りたい。
根本原因の追究が必要。

・OB の話は興味深い。特定技能の今後の流れを勉強したい。

・企業側の希望を事前に伝えられる機会があればと思った。

・もっと企業同士が気軽に交流できる機会が欲しい。業種ごとにブースで分けても良い。定期的に開催希望。有意義だった。

・時間がやや長すぎると感じた。長時間になるなら、机の用意を。

・段取りが完璧だった。

・様々な情報交換ができて勉強になった。

・業界を絞った交流会。

・国の語学の教育状況などはとても参考になった。

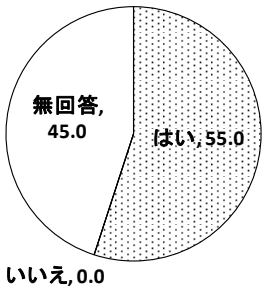
・自由席でなく、企業リストがあるので座席指定してほしかった。
その方が名刺交換がしやすい。

・留学生の採用理由を聞いて日本の人手不足が良く分かった。
外国人をもっと採用しても良いのでは。

・役に立った。先輩の体験や求められる人材、能力などの情報が得られた。

Q6-2今後、同様の交流会があれば参加したいと思いますか

	N	1 はい	2 いいえ	無回答
企業	40	22	−	18
%	100.0	55.0	−	45.0



Q6-3 今後取り上げて欲しいテーマ

・特定活動について詳しく知りたい。

・特定技能試験の進捗状況について。

・外国人雇用後の問題点、文化の違い。

・介護方面のテーマ。

・外国人中途採用について。

・専門学校の留学生が可能な職種。

・外国人採用後の長期定着促進策、失敗談の紹介。

・採用企業や労働者それぞれの苦労話、失敗談（本音）→同じ企業で参加しないほうが良い。

・建設業なので今後も特定技能に興味がある。

・企業側の受入れについて。教育のやり方など。

・教育プログラムについて（日本語、コミュニケーション）具体的事例など分かれば有益な情報になります。

・社員と採用された留学生が会社内でどのようにしたらうまく働けるのか。

・入社後の教育環境など。

Q7-1 留学生の採用を考える際、重視すべき項目

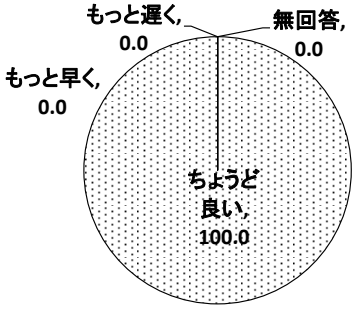
・語学、対人間関係力、信頼性。
・留学生が働きやすい環境を作るため、社員がコミュニケーションを取りやすいように在籍社員の留学生への理解を深める。
・日本語能力、コミュニケーション能力。
・日本語能力。
・在留資格の有無と将来性。
・人柄。
・真面目、日本語が話せる、衛生意識の基本があること。
・語学力と永続性。
・日本語のスキル、人となり。
・日本語力、コミュニケーション力。
・日本語能力、熱意。
・採用、入社でどんな化学反応が起きると想定されるか。
・イベントが好きであること、日本語能力。
・言葉、文化。
・日本語コミュニケーション力。日本で長く働きたいと考えているか、5 年くらいで母国で起業を考えているか。
・真面目な方。
・日本語能力、コミュニケーション力。
・語学力。
・日本語レベル 2 以上のニーズが高い。

Q7-2 今後留学生を採用するに当たり興味ある国

・ベトナム	１３件
・中国	４件
・フィリピン	４件
・ミャンマー	４件
・台湾	３件
・タイ	３件
・マレーシア	２件
・欧米	１件
・ネパール	１件
・インド	１件
・香港	１件
・インドネシア	１件
・東南アジアなど、国を問わず	１件

Q2-1開催時期について

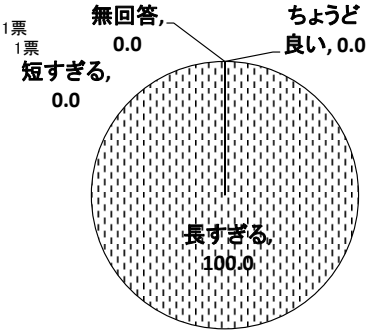
	N	1 ちょうど良い	2 もっと早く	3 もっと遅く	無回答
公務	2	2	−	−	−
%	100.0	100.0	−	−	−



Q2-2実施時間について

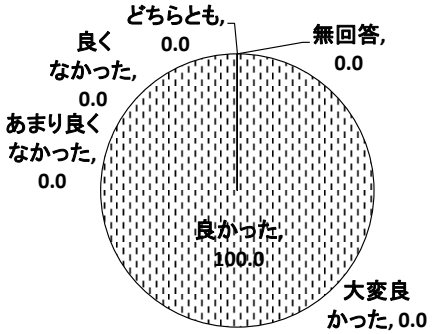
	N	1 ちょうど良い	2 長すぎる	3 短かすぎる	無回答
公務	2	−	2	−	−
%	100.0	−	100.0	−	−

↓
「2時間」 1票
「2.5時間」 1票



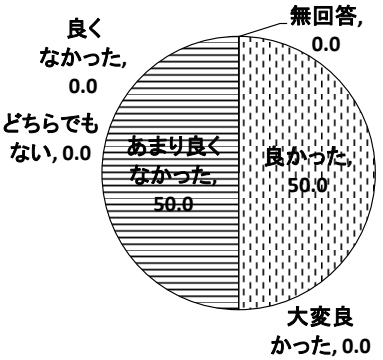
Q3-1講演評価「人手不足、人材不足について考える」

	N	1 大変良かった	2 良かった	3 どちらとも	4 あまり良くなかった	5 良くなかった	無回答
公務	2	−	2	−	−	−	−
%	100.0	−	100.0	−	−	−	−



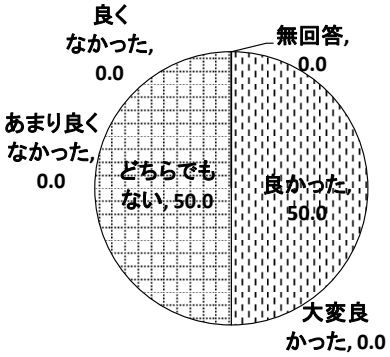
Q3-2トークセッション評価「日本企業に就職する留学生×専門学校職員」

	N	1 大変良かった	2 良かった	3 どちらでもない	4 あまり良くなかった	5 良くなかった	無回答
公務	2	−	1	−	1	−	−
%	100.0	−	50.0	−	50.0	−	−



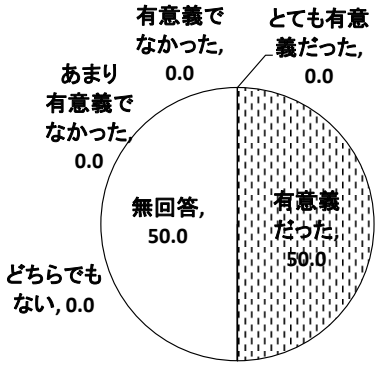
Q3-3トークセッション評価「活躍する専門学校留学生OB×企業人事担当者」

	N	1 大変良かった	2 良かった	3 どちらでもない	4 あまり良くなかった	5 良くなかった	無回答
公務	2	−	1	1	−	−	−
%	100.0	−	50.0	50.0	−	−	−



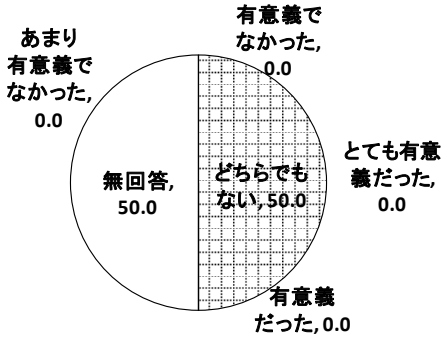
Q4情報交換会について、十分な情報交換ができましたか？

	N	1 とても有意義だった	2 有意義だった	3 どちらでもない	4 あまり有意義でなかった	5 有意義でなかった	無回答
公務	2	−	1	−	−	−	1
%	100.0	−	50.0	−	−	−	50.0



Q5専門学校ブースについて、十分な情報交換ができましたか？

	N	1 とても有意義だった	2 有意義だった	3 どちらでもない	4 あまり有意義でなかった	5 有意義でなかった	無回答
公務	2	−	−	1	−	−	1
%	100.0	−	−	50.0	−	−	50.0

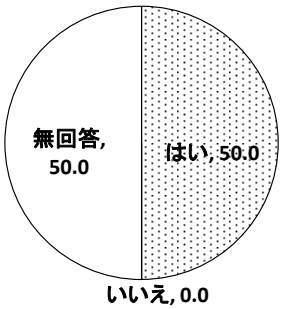


Q6-1 本日の交流会に関するご意見、ご要望

・少し長かった。

Q6-2今後、同様の交流会があれば参加したいと思いますか。

	N	1 はい	2 いいえ	無回答
公務	2	1	−	1
%	100.0	50.0	−	50.0



Q6-3 今後取り上げて欲しいテーマ

※記入無し

Q7-1 留学生の採用を考える際、重視すべき項目

※非該当（企業のみ回答）

Q7-2 今後留学生を採用するに当たり興味ある国

※非該当（企業のみ回答）

2019 年度 文部科学省委託事業「専修学校グローバル化対応推進支援事業」
外国人留学生採用企業交流会 アンケート 集計結果【④専門学校 23 件】

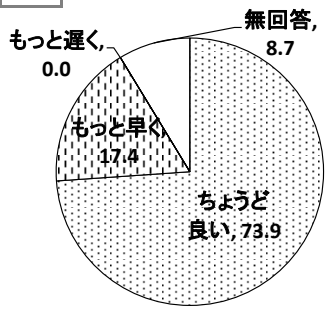
専門学校

2-1

Q2-1開催時期について

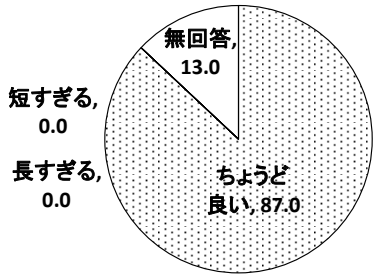
	N	1 ちょうど良い	2 もっと早く	3 もっと遅く	無回答
専門学校	23	17	4	−	2
%	100.0	73.9	17.4	−	8.7

↓
「7月」 1票
「8月」 1票
「9月」 1票
無記入：1票



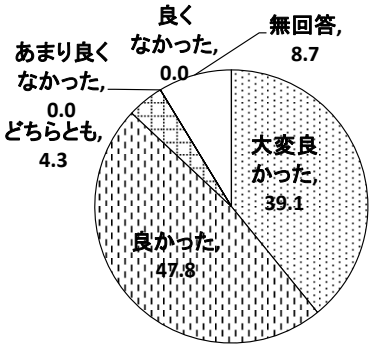
Q2-2実施時間について

	N	1 ちょうど良い	2 長すぎる	3 短かすぎる	無回答
専門学校	23	20	−	−	3
%	100.0	87.0	−	−	13.0



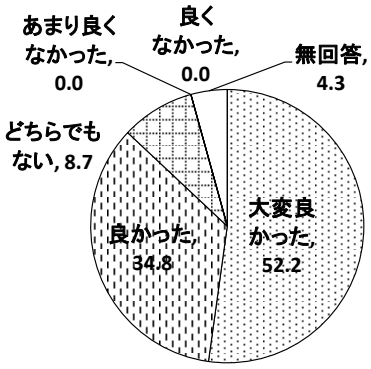
Q3-1講演評価「人手不足、人材不足について考える」

	N	1 大変良かった	2 良かった	3 どちらとも	4 あまり良くなかった	5 良くなかった	無回答
専門学校	23	9	11	1	−	−	2
%	100.0	39.1	47.8	4.3	−	−	8.7



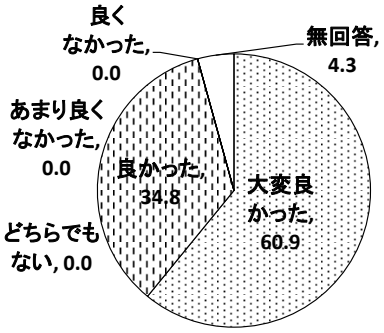
Q3-2トークセッション評価「日本企業に就職する留学生×専門学校職員」

	N	1 大変良かった	2 良かった	3 どちらでもない	4 あまり良くなかった	5 良くなかった	無回答
専門学校	23	12	8	2	−	−	1
%	100.0	52.2	34.8	8.7	−	−	4.3



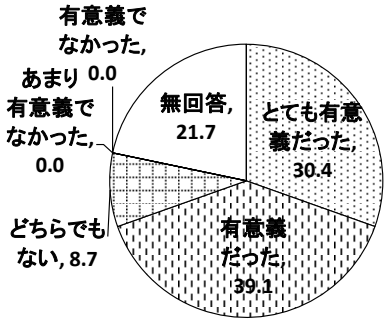
Q3-3トークセッション評価「活躍する専門学校留学生OB×企業人事担当者」

	N	1 大変良かった	2 良かった	3 どちらでもない	4 あまり良くなかった	5 良くなかった	無回答
専門学校	23	14	8	−	−	−	1
%	100.0	60.9	34.8	−	−	−	4.3



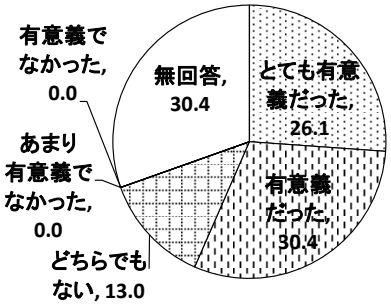
Q4情報交換会について、十分な情報交換ができましたか？

	N	1 とても有意義だった	2 有意義だった	3 どちらでもない	4 あまり有意義でなかった	5 有意義でなかった	無回答
専門学校	23	7	9	2	−	−	5
%	100.0	30.4	39.1	8.7	−	−	21.7



Q5専門学校ブースについて、十分な情報交換ができましたか？

	N	1 とても有意義だった	2 有意義だった	3 どちらでもない	4 あまり有意義でなかった	5 有意義でなかった	無回答
専門学校	23	6	7	3	−	−	7
%	100.0	26.1	30.4	13.0	−	−	30.4



Q6-1 本日の交流会に関するご意見、ご要望

・特定技能について詳しく聞けた。

・実際の国内で働く外国人の生の声を聞きたいと思った。

・特定技能の話のウエイトが高すぎた。本日の留学生の集まりにはミスマッチ。

・在学中、卒業後の留学生の生の声が聴ける貴重な機会だった。各専門学校の 留学生に対する学習面、就職面でのサポート体制の工夫も興味深く聞いた。

・衛生分野など、分野特化した内容が知りたい（分科会開催など）

・就労などについても参考になった。

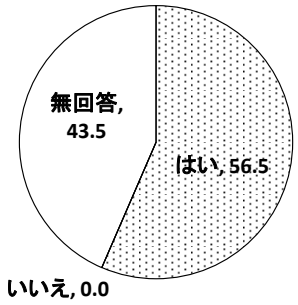
・留学生がプレゼンしたのは良かった。もう少し早い時期で彼らの就活も兼ねてできれば良いと思う。

・様々な業界や専門学校の話が聞けて良かった。

・内容が盛りだくさん過ぎた。もう少し的を絞っても良い。運営は素晴らしかった。

Q6−2今後、同様の交流会があれば参加したいと思いますか。

	N	1 はい	2 いいえ	無回答
専門学校	23	13	−	10
%	100.0	56.5	−	43.5



Q6-3 今後取り上げて欲しいテーマ

・実際に外国人特にベトナム人を採用された企業が悩んだ点。

・働いてみて大変だった体験談。

・N1,N2 など資格がない学生はどうしているのか、就職しているのかなど現状を知りたい。

・在校生への就職指導、国内での彼らの就職活動について詳しく聞きたい。

・就労ビザ、特定技能、それぞれの申請に関する注意点一覧資料が欲しい。

・ビザ手続き、或いは就労の事例など。

・行政書士による在留資格などの相談ができれば良い。

Q7-1 留学生の採用を考える際、重視すべき項目

※非該当（企業のみ回答）

Q7-2 今後留学生を採用するに当たり興味ある国

※非該当（企業のみ回答）

アンケート調査票

2019 年度　文科省委託事業「専修学校グローバル化対応推進支援事業」

外国人留学生採用企業交流会

～企業と専門学校教職員、専門学校在籍の外国人留学生による交流会～

アンケート

本交流会にご参加いただき、誠にありがとうございます。今後の事業の参考にさせていただきますので、ご感想をお聞かせください。ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

□農業・林業　□漁業　□鉱業、採石業、砂利採取業　□建設業　□製造業
□電気・ガス・熱供給・水道業　□情報通信業　□運輸業・郵便業　□卸売・小売業　□金融・保険業
□不動産業・物品賃貸業　□学術研究、専門・技術サービス業　□宿泊業、飲食サービス業
□生活関連サービス業、娯楽業　□医療　□福祉関係（社会福祉・介護）　□放送業・新聞・出版　□広告業□流通
□教育・学習支援業　□公務　□その他複合サービス業　□その他（　　）
□専門学校関係者

2. 本交流会の開催時期、実施時間について、ご意見ご感想をお聞かせください。（いずれか1つを選択）

1）開催時期について

□①ちょうど良い　□②もっと早くしてほしい（具体的に：__月頃）　□③もっと遅くしてほしい（具体的に：__月頃）

2）実施時間について

□①ちょうど良い　□②長すぎる（具体的に：__時間位ならよい）　□③短すぎる（具体的に：__時間位ならよい）

3. 各プログラムについてご感想、ご意見をお聞かせください。（いずれか1つを選択）

1）＜講演＞「人手不足、人材不足について考える」

□①大変良かった　□②良かった　□③どちらでもない　□④あまり良くなかった　□⑤良くなかった

2）＜トークセッション＞日本企業に就職する留学生×専門学校教職員

□①大変良かった　□②良かった　□③どちらでもない　□④あまり良くなかった　□⑤良くなかった

3）＜トークセッション＞活躍する専門学校留学生 OB×企業人事担当者

□①大変良かった　□②良かった　□③どちらでもない　□④あまり良くなかった　□⑤良くなかった

4. 情報交換会について、十分な情報交換等ができましたか。

□①とても有意義だった　□②有意義だった　□③どちらでもない　□④あまり有意義ではなかった
□⑤有意義ではなかった

5. 専門学校ブースについて、十分な情報交換等ができましたか。

□①とても有意義だった　□②有意義だった　□③どちらでもない　□④あまり有意義ではなかった
□⑤有意義ではなかった

裏面へ続く→

6. ご意見をお聞かせください。

1)本日の交流会に関するご意見・ご要望がございましたら、ご記入ください。

2)今後、本日と同様の交流会があれば参加したいと思いますか。　□①はい　□②いいえ

3)今後取り上げてほしいテーマがございましたらお聞かせください。

7. 企業様にお伺いします。

1)留学生の採用を考える場合、重視すべき項目は何でしょうか。

2)今後、留学生を採用するにあたりご興味がある国をお聞かせください。

アンケートにご協力いただき、誠にありがとうございます。

一般社団法人 大阪府専修学校各種学校連合会(大専各)

※このアンケートによって提供いただいた個人情報に関して、当連合会の国際化事業及び情報提供以外の目的では使用いたしません。

（3）その他の事業

1）成果報告書の作成

全事業の工程・成果を成果報告書としてとりまとめ、全国専各事務所、会員校その他関係各所に発送した。

2）成果報告会の開催

（3）－1）の報告書をもとに報告会を開催する。

3. その他取組み（TCE 財団受託事業との連携、大専各独自事業、大阪観光局との連携について）

大専各では、本受託事業以外に以下のような取組みを行った。

（1）職業教育・キャリア教育財団（TCE 財団）事業との連携プロジェクト

1）東南アジア 8 カ国との連携プロジェクト　招へい者の視察等受入れ

2）東南アジア 8 カ国との連携プロジェクト　職業教育国際フォーラム

①本事業の目的

2017 年、2018 年度事業に引き続き、東南アジア各国の大学等の日本語教育関係者及び学生を我が国に招聘し、日本の専門学校制度の理解促進とネットワーク構築を図る。今回対象とする東南アジア 8 か国は、既に日系企業が数多く進出している環境にあり、日本に対する信頼度が急速に高まっている国々である。本年度は、昨年度に引き続き、国ごとに受入れ地域を設定し、地域の専門学校視察や留学生採用企業との交流を行うことによりネットワーク構築を深化する。受入れ地域については、過去 2 年の取組みにより、県独自に留学生受入れのネットワークを構築しつつある地域に代わり、今回グローバル事業として新たに受入れる地域を加え入れ、本事業をモデルとして今後他地域でも取り組めるように新旧バランスの良い構成地域（新：宮城・沖縄、継続：東京・大阪・香川）とする。日本語教育整備環境等の留学生送り出し状況が多様である東南アジア 8 か国は、一昨年と昨年度で 3 地域（福岡・大阪・東京）または 4 地域において、各分野の専門学校を見聞している。本年度、地域及び分野において日本全国の極めて多様な職業教育を更に認識してもらい、母国において発表を行ってもらう。あわせて、専門学校教育と東南アジア各国との連携協力のあり方についてのシンポジウムを東京で開催する。特に本年度は、これまでの実績をもとに招聘者と各地区の情報交換を緊密に行い、母国での専門学校理解促進の状況把握と日本とのネットワーク構築を担う仲介業者（エージェント）に関しても情報交換を促進する。また、TCE 財団としても、各国における仲介業者（エージェント）に関する評価項目・基準等について日本語学校等からのヒアリングを行う。

（一般財団法人職業教育・キャリア教育財団事業計画より抜粋）

②概要

2018 年度事業に引き続き、東南アジア 8 か国（インドネシア、カンボジア、タイ、フィリピン、ベトナム、マレーシア、ミャンマー、ラオス）の現地大学、日本語教育機関にて日本語教育に携わる教員及び学生 16 名（各国 2 名）を招聘し、日本の専門学校制度の理解促進とネットワーク構築を図った。

本年度は、受け入れ地域を 5 都府県（東京・大阪・香川・宮城・沖縄の 5 都府県）に設定し、地域の専門学校視察や留学生採用企業との交流を行うことにより、ネットワークの構築を推進した。本年度は、「職業教育国際フォーラム」を東京で開催した。

＜実施日程＞ 2019 年 10 月 28 日(月)～11 月 1 日（金）

代表機関：一般財団法人職業教育・キャリア教育財団
連携機関：
公益社団法人東京都専修学校各種学校協会/一般社団法人大阪府専修学校各種学校連合会/
一般社団法人香川県専修学校各種学校連合会/一般社団法人宮城県専修学校各種学校連合会/
一般社団法人沖縄県専修学校各種学校協会
後援：全国専修学校各種学校総連合会
運営・事務局：株式会社アクセスリード/株式会社ＪＴＢ京阪トラベル
ターゲット国： 東南アジア８か国
　インドネシア、カンボジア、タイ、フィリピン、ベトナム、マレーシア、ミャンマー、ラオス
ターゲット分野： 全８分野

１）東南アジア８カ国との連携プロジェクト　招へい者の視察等受入れ

（大阪府）受入れ国：フィリピン・ミャンマー

【行程・視察先等】

10 月 28 日（月）
・ECC 国際外語専門学校／ECC コンピュータ専門学校／ECC アーティスト美容専門学校
10 月 29 日（火）
・上田安子服飾専門学校／大阪総合デザイン専門学校
・辻調理師専門学校／辻製菓専門学校
１０月 30 日（水）
・大阪工業技術専門学校
・大専各『外国人留学生採用企業交流会』参加
10 月 31 日（木）・11 月 1 日（金）
・東京地区へ移動・合流

各専各も大阪と同様、視察を実施。

（香川県）一般社団法人香川県専修学校各種学校連合会

受入れ国：マレーシア・ラオス

視察先：専門学校穴吹デザインカレッジ/専門学校穴吹ビューティーカレッジ/専門学校穴吹ビジネスカレッジ日本語学科/専門学校穴吹工科カレッジ/専門学校パティシエ福祉カレッジ/吉田愛服飾専門学校/四国医療福祉専門学校/

介護老人保健施設　明けの星

（宮城県）一般社団法人宮城県専修学校各種学校連合会

受入れ国：インドネシア・ベトナム

視察先：東北電子専門学校/専門学校デジタルアーツ仙台/仙台総合ペット専門学校/東北外語観光専門学校/キャスウェルホテル&ブライダル専門学校/仙台国際日本語学校東北電子専門学校/東北保健福祉専門学校

「みらいの仕事体験フェスタ 2019」参加

（沖縄県）一般社団法人沖縄県専修学校各種学校協会

受入れ国：タイ・カンボジア

視察先：専門学校尚学院国際ビジネスアカデミー/沖縄福祉保育専門学校/専門学校 IT カレッジ沖縄/専門学校大育/沖縄写真デザイン工芸専門学校/専門学校琉美インターナショナルビューティーカレッジ

ロワジール那覇（企業視察）

（東京都）受入れ国：全８か国

視察先：日本工学院専門学校

「職業教育国際フォーラム」参加

２）東南アジア８カ国との連携プロジェクト　職業教育国際フォーラム

「職業教育国際フォーラム　東南アジア各国大学等と専門学校の継続的な協力連携に向けて」

日時：2019 年１１月1日（金）１３：３０～１７：００

会場：TKP 西新宿カンファレンスセンター　ホール 3B

主催：一般財団法人職業教育・キャリア教育財団

協力：公益社団法人東京都専修学校各種学校協会/一般社団法人大阪府専修学校各種学校連合会/一般社団法人香川県専修学校各種学校連合会/一般社団法人宮城県専修学校各種学校連合会一般社団法人沖縄県専修学校各種学校協会

後援：全国専修学校各種学校総連合会

運営：株式会社アクセスリード/株式会社ＪＴＢ京阪トラベル

プログラム：

①開会挨拶

②来賓挨拶

③海外ゲストのご紹介

④事例発表

⑤パネルトーク

⑥海外学生ゲストによる専門学校視察の感想

⑦海外教員ゲストと専門学校の継続的協力連携に向けて（共同宣言）

⑧閉会挨拶

来場人数：89 名

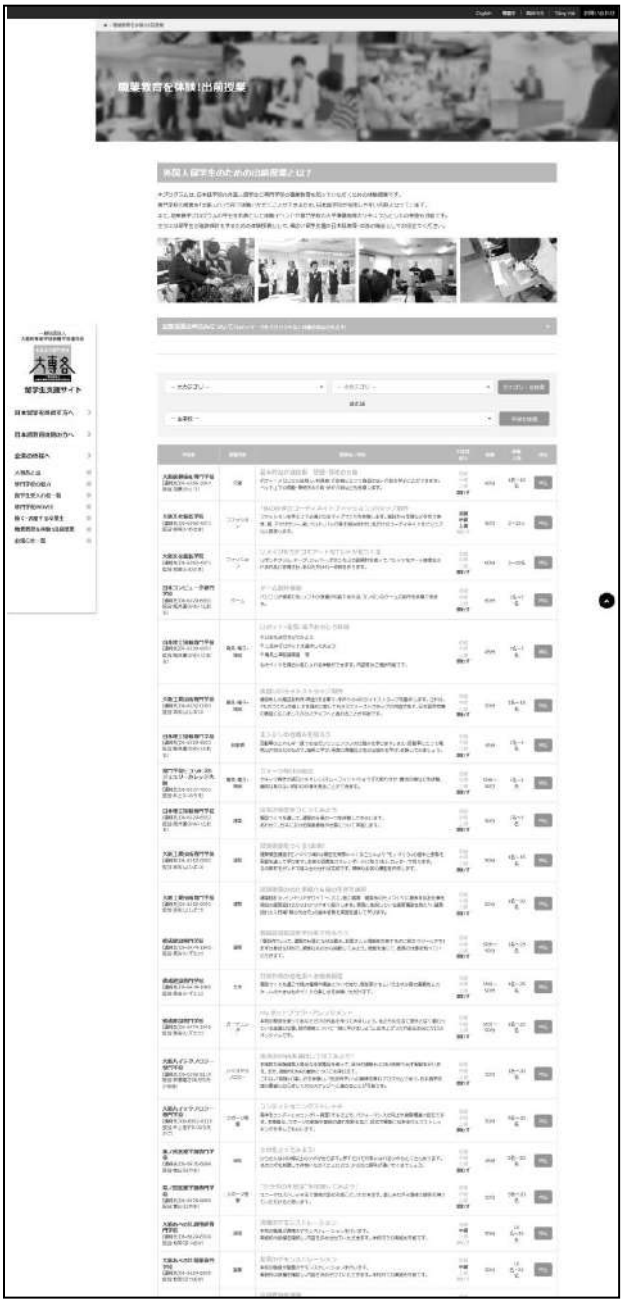
事前予約 91 名(内訳:海外招聘者 15 名/官公庁・団体・関連機関 11 名/専門学校 46 名/日本語教育機関 9 名/企業 10 名）

3. その他取組み　（2）大専各独自事業　外国人留学生のための出前授業

出前授業とは、2012 年度より大専各の独自事業として近畿圏内の日本語教育機関へ向けて、専門学校が実施する職業教育への理解促進と、進学先としての意識付けを図るため行ってきた、留学生の体験授業である。

2018 年度より利便性を考え、紙パンフレット様式から大専各留学生支援サイト内での Web 申込みとなり、閲覧や検索絞り込みなどの機能を追加。今年度も引き続き周知を行い、日本語教育機関に対して専門学校が行う職業教育の普及に努めた。

職業教育を体験！出前授業（留学生支援サイト内）



3. その他取組み　（3）大阪観光局との連携

冒頭で述べているが、大阪府・大阪市では 2016 年度に策定した「大阪都市魅力想像戦略 2020」の重点事業として「外国人留学生の受入と定着支援」を展開することとしており、KPI として 2020 年に大阪で学ぶ留学生数を 23,000 人と設定も行った。この数値は 2018 年度段階ですでにクリアしており、少なくとも現在約 25,000 人以上の留学生が大阪で学んでいる状態である。こういった留学生数の変化だけでなく、現在も海外旅行者数は増え、インバウンドも活況であり、2020 年の東京オリンピック以降は、ワールドマスターズや万国博覧会といった国際的な催しが続いていく。まさしく国際都市大阪として対応していく中で、留学生に関するプラットフォームを整備していく必要性がでてきた。

それは私たち専門学校団体である大専各だけでなく、大学や短大、そして日本語学校、高校、また企業や行政といった留学生に関わる各ステークホルダーが、情報を交換・共有し、協力することの有益性が望まれるべきである。この壮大な取組みに対して、大阪の観光を推進している大阪観光局が発起人となり、「留学生支援に向けたプラットフォーム会合」と称して、今年度、数回の会合を開催した。

大専各留学生委員会からは代表として 4 名の委員が参加している。現在、具体的な会の名称や規約などを協議しており、本年度内の具体的な成果として 2020 年 2 月を予定に、オール大阪としての『大阪版留学生ポータルサイト』がスタートし、大専各留学生支援サイトと連携していく。

4.委託事業実施に伴う成果物

（1）広報事業

1）留学生支援サイトの運営

a） 受入れ校一覧情報の各校更新化

1）サイト公開済み校数 81 校（2019 年 12 月 16 日現在）

2）受入れ情報カードの印刷（掲載校）

3）学び分野・学科系統の表示分野変更済み（2019 年 11 月 15 日現在）

b） 動画掲載数の向上

公開済み 169 動画（リニューアル前 122 動画）（2019 年 12 月 16 日現在）

c） 卒業生情報の掲載数の向上

公開済み 83 名（リニューアル前 71 名）（2019 年 12 月 16 日現在）

d） 出前授業の新年度情報を更新と申込み機能の開始

2019 年 4 月に実施済み

e） ビザに関する情報更新 など

1）2019 年 9 月 9 日（月）リニューアル公開済み

・その他　引き続きログ解析レポートを用いて、定点観測を行う。

2）企業向け大専各留学生支援サイトへの誘引ツール制作・配布

3）日本語教育機関向け大専各留学生支援サイトへの誘引ツール制作・配布

a）留学生採用検討企業向け「誘引ツール」（5,000 部）

おもな配布先：

大阪商工会議所、関西経済連合会、岸和田商工会議所、東大阪商工会議所、大阪シティ信用金庫、英和信用金庫、富田林工業団地協同組合、森興産、池田泉州銀行、だいしん総合研究所、ABC プラットフォーム、大阪観光局/大専各会員校・他専各団体/行政/企業交流会・その他

b）日本語教育機関・進路指導向け「誘引ツール」（5,000 部）

おもな配布先：

日本語教育機関（全国・1 校 4 部）/ワーキング校経由/大専各会員校・他専各団体/行政・その他

c）日本語教育機関・進路指導向け「専門学校 留学生受入れ情報カード」（1,500 部）

おもな配布先：

日本語教育機関（全国・1 校 1 部）/大専各会員校・他専各団体・その他

（2）研修・交流事業

1）日本語教育機関向け職業教育セミナー

「日本語教師向け職業指導セミナー～専門学校が実践する職業教育と、その後の就職について～」実施時のアンケート結果（44 名分）をまとめた報告書を作成し、その成果を広く普及させることを目的として、各地域の専修学校団体や企業、日本語教育機関団体へ周知、2020 年 1 月実施予

定の成果報告会で報告する。

2）留学生担当者向け研修会

「留学生担当教職員向け研修会」実施時のアンケート結果（65 名分）をまとめた報告書を作成し、その成果を広く普及させることを目的として、各地域の専修学校団体や企業、日本語教育機関団体へ周知、2020 年 1 月実施予定の成果報告会で報告する。

3）企業向け留学生採用企業交流会

「外国人留学生採用企業交流会～企業と専門学校教職員、専門学校在籍の外国人留学生による交流会～」実施時のアンケート結果（66 名分）をまとめた報告書を作成し、その成果を広く普及させることを目的として、各地域の専修学校団体や企業、日本語教育機関団体へ周知、2020 年 1 月実施予定の成果報告会で報告する。

5．委託事業（2017 年から 2019 年度）の総括

本書の冒頭で留学生委員会委員長が述べている通り、大専各 留学生委員会は、2007 年の発足から様々な留学生に関わる取組みを行ってきた。特に留学生が専門学校に『入学を考える、学ぶ、卒業後の進路として就職まで導く』という入口から出口までの体系化に力をいれてきた。そういった中で文部科学省委託事業「専修学校グローバル化対応推進支援事業」は、2017 年～2019 年という海外から日本へ留学する留学生が急激に増えた時期でもあり、それは私たち専門学校にとって、受入れだけでなく、在籍管理や様々な日本語力に対応できる専門的な教授方法、卒業後の就労企業の確保など、より求められる事項が重要になってきているタイミングでの委託事業だった。

事業の概要は、3 か年一貫して広報事業と研修・交流事業として図-1.2 のように行っており、シンプルな構成となっている。この考えの中には、通常、広報は各専門学校でも行っているものを団体として組織的な広報を行うことで、専門学校自体の特徴がより鮮明に、そしてステイタスも向上していくと考え、取組んできた。同時に研修会や日本語教育機関・企業等との交流という、なかなか 1 専門学校だけでは集めることができない場も構築することができた。この成果はこれまで述べている通りであり、本来の事業目的である「地域における留学生の受入れのモデルケースを構築する」という内容に向かって、現在進行形で積み上げている最中だと言える。

では、どこがゴールかと熟考してみると、キーワードは「自走」ではないかと考える。具体的に、今は文部科学省委託事業として、必要経費を補助してもらっている状態である。しかし、これがしっかりと成果に結びつくものであると、大専各の会員校が理解し、共有することで『自前』で企画・運営していくことができる。

このような考えは、この委託事業を通して、あらためて大専各留学生委員会のあり方を再考するよい機会となった。しかしそれだけではなく、他団体・企業など外部との関わりを促進してくれる役割ともなった。例えば、大阪観光局が発起人となった「留学生支援に向けたプラットフォーム会合」は、たいへん意義あるものだと考えている。このように学校種や団体の垣根を越えて、留学生に対するサポートを行っていくことは、ひとつの理想的な形ではないだろうか。もちろん、すべてがこれから何も障害がなく進むとは断言できないが、少なくとも大専各留学生委員会は、大阪にある専門学校の団体として、組織的な活動を行ってきたおかげで、現在のようにスムーズな形でこのプラットフォーム会合に意見や協力をしていくことができている。

以上のことから、本事業「大阪型専修学校グローバル化対応推進事業」は、一通りの成果に結びついたと同時に、まだこれからも進んでいく道が続いていると言えるのではないだろうか。

図-1　取組み事例の関係

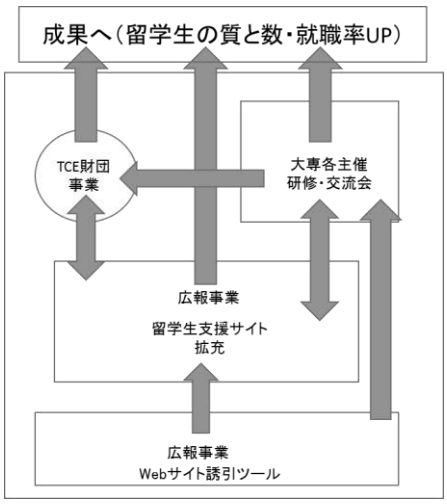
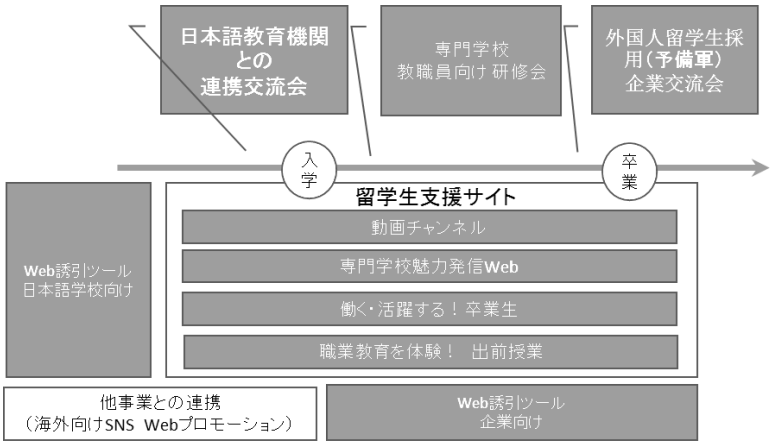
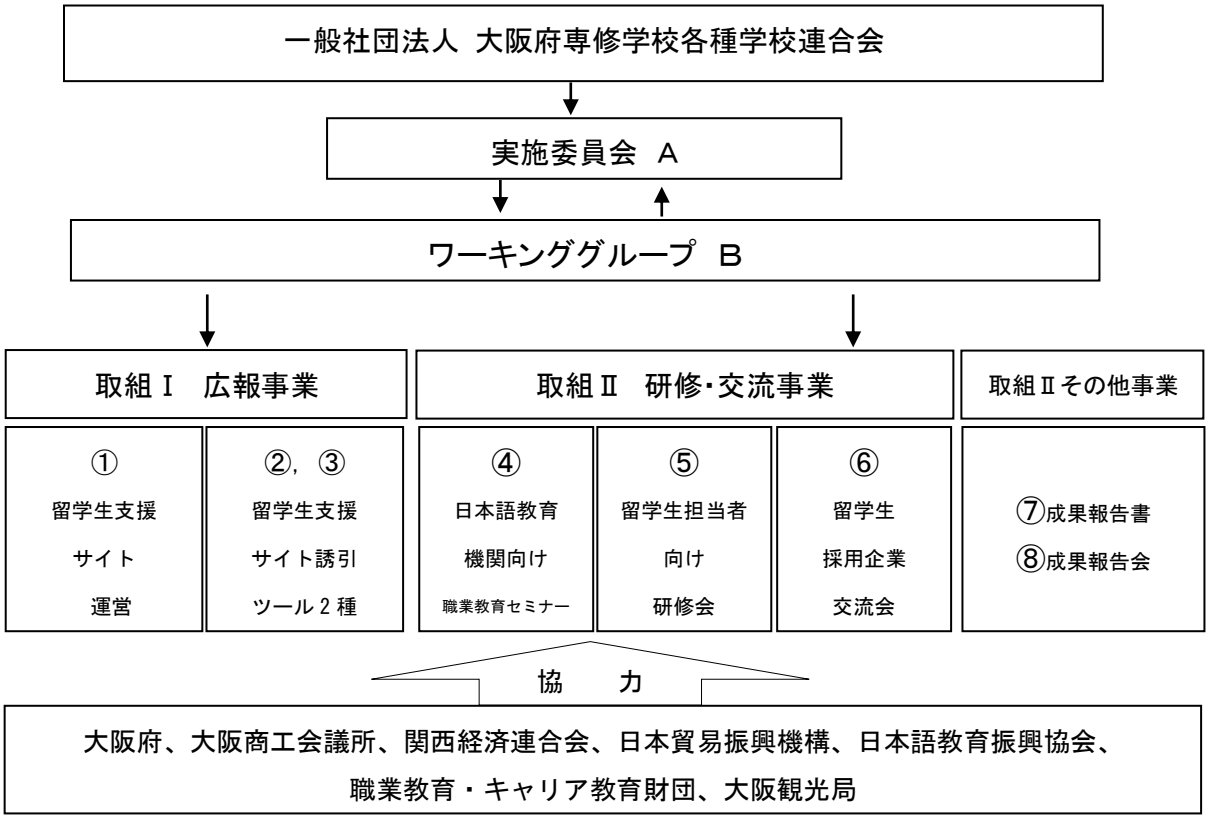


図-2 時系列による取組み事例（2018 年度事業）



6．2019 年度　委託事業実施体制

①事業実施に係る連携体制



②実施委員会

	氏名	所属・役職
1	清水 尚道	大阪府専修学校各種学校連合会　理事長 森ノ宮医療学園専門学校　理事長
2	興津 厚志	大阪商工会議所人材開発部長　大阪企業家ミュージアム事務局長
3	牧野 輝彦	大阪観光局マーケティング事業部 海外部門国際交流・留学生支援担当
4	根本 裕之	日本貿易振興機構（ＪETRO）大阪本部長
5	御手洗 英樹	大阪府府民文化部都市魅力創造局国際課　総括補佐
6	上田 哲也	大阪府専修学校各種学校連合会　留学生委員会委員長 大阪エンタテインメントデザイン専門学校　理事長
7	山下 裕貴	大阪府専修学校各種学校連合会　留学生委員会副委員長 修成建設専門学校　理事長
8	冨永 桂多	大阪府専修学校各種学校連合会　留学生委員会担当副理事長 関西外語専門学校　理事長
9	鍛冶田 千文	大阪 YMCA 国際専門学校　校長
10	瓶井 修	日本メディカル福祉専門学校　校長
11	木村 泰一	ECC 留学生センター長
12	長谷川 惠一	エール学園　理事長
13	平岡 憲人	清風情報工科学院　校長
14	福井 要	大手前栄養製菓学院専門学校　理事長
15	吉岡 健一	大阪コミュニティワーカー専門学校　校長

③ワーキンググループ

	氏名	所属・役職
1	上田 哲也	大阪府専修学校各種学校連合会 留学生委員会委員長 大阪エンタテインメントデザイン専門学校　理事長
2	山下 裕貴	大阪府専修学校各種学校連合会 留学生委員会副委員長 修成建設専門学校　理事長
3	冨永 桂多	大阪府専修学校各種学校連合会 留学生委員会副理事長 関西外語専門学校　理事長
4	白石 一幸	ECC 国際外語専門学校 留学生事業部日本語学科 国際コミュニケーション学科進路課
5	長谷川 惠一	エール学園　理事長
6	萩原 大作	エール学園　理事　校長
7	浜野 哲二	大阪工業技術専門学校　学園事務局部長
8	宗田 宜士	大阪工業技術専門学校　学園事務局
9	柴田 聖子	大阪バイオメディカル専門学校　理事
10	岡 猛	大阪文化国際学校　校長
11	鈴木 えみ	大阪 YMCA 留学生事業部グループ長 海外募集責任者
12	望月 温	大阪 YMCA 国際専門学校　語学・ビジネス専門課程　学科長
13	中山 羊奈	大阪 YWCA 専門学校　校長
14	岡田 智幸	近畿社会福祉専門学校　留学生担当責任者 医療法人健和会　奈良東病院 事務局長・本部事務部長
15	桝 豪司	近畿社会福祉専門学校　校長
16	平岡 憲人	清風情報工科学院　校長
17	古畑 和彦	清風情報工科学院　留学生広報部長
18	瓶井 修	日本メディカル福祉専門学校　校長
19	瓶井 通	日本メディカル福祉専門学校　教務部長
20	小島 賢久	森ノ宮医療学園専門学校　森ノ宮医療大学　教授

④事業実施協力機関

事業実施協力機関
大阪府
大阪観光局
大阪商工会議所
関西経済連合会
日本語教育振興協会
日本貿易振興機構(JETRO)大阪
一般財団法人職業教育・キャリア教育財団
株式会社アクセスリード/株式会社 WAVE

2019 年度文部科学省委託事業「専修学校グローバル化対応推進支援事業」
各地域における外国人留学生の戦略的受入れに向けた体制整備
大阪型専修学校グローバル化対応推進事業 2019
成果報告書

発行日　2020 年 1 月　第 1 版
受　託　一般社団法人大阪府専修学校各種学校連合会
住　所　〒534-0026 大阪市都島区網島町 6 番 20 号大阪私学教育文化会館内
TEL06-6352-0048　FAX06-6352-7553
大専各サイト　http://www.daisenkaku.or.jp/
大専各留学生支援サイト　https://study-osaka.com /

本気なら専門学校

大専各

一般社団法人
大阪府専修学校各種学校連合会